

2026年度 国立大学法人
長崎大学概要
NAGASAKI UNIVERSITY



理 念

長崎大学は、長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献する。

基本的目標

長崎大学は、1857年にオランダ人医師ポンペ・ファン・メールデルフォールトにより行われた日本初の医学伝習を創基とし、戦争被爆による壊滅の体験を経て、1949年各種専門教育機関を糾合し、5学部1研究所から構成される新制大学として再構築された。

大学の理念として「出島を介した『勉学の地』としての誇りと『進取の精神』を受け継ぐとともに、宗教や科学における非人道的な負の遺産にも学び、人々が『平和』に共存する世界を実現するという積極的な意志の下に教育・研究を行う。そして、蓄積された『知』を時代や価値観を越えて継承し、人類を愛する豊かな心を育て、未来を拓く新しい科学を創造することによって、地域と国際社会の平和的発展に貢献する。」を掲げ、現在、10学部6研究科1学環3研究所及び長崎大学病院を有する総合大学に発展している。

第3期中期目標期間においては、本学の特色である感染症分野での貢献を基軸に、グローバルヘルスに貢献する大学としての役割を加速してきた。熱帯医学・グローバルヘルス研究科を中心として、ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院との連携で推進する卓越大学院プログラム「世界を動かすグローバルヘルス人材育成プログラム（平成30年度採択）」の実施やBSL-4実験施設の竣工（令和3年度）はその例である。

第4期中期目標期間においては、グローバルヘルスに貢献する大学から、地球の健康、すなわち、プラネタリーヘルスに貢献する大学へと進化する。21世紀になり、人間の活動に起因する、気候変動、食糧危機、生物多様性の減少、環境汚染、貧困、格差、パンデミックなどが益々深刻化している。これら現代の地域・環境が抱える諸課題は地球規模で重層化、多様化しており、これらが人間の福利や健康に影響を及ぼすことも明らかになってきている。長崎大学は、人類と地球の抱える多様で相互に関連する問題群の解決に向けて、学際的にその知を結集・創造し、国内外の諸機関等との連携をはかりつつ、プラネタリーヘルスの実現に貢献する世界的“プラネタリーヘルス”教育研究拠点となる。

目 次

治 革

沿革	2
----	---

組 織

機構図	12
歴代学長	14
役員会構成員	15
学長選考・監察会議委員	15
経営協議会委員	15
教育研究評議会評議員	15
役職員	16
役員・職員数	18

教育研究等

学部	
多文化社会学部	19
教育学部	19
経済学部	19
医学部	19
歯学部	19
薬学部	19
情報データ科学部	19
工学部	19
環境科学部	19
水産学部	19

大学院	
多文化社会学研究科	19
教育学研究科	19
経済学研究科	19
総合生産科学研究科	20
工学研究科	20
水産・環境科学総合研究科	20
医歯薬学総合研究科	20
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	20
プラネタリーヘルス学環	20
学年暦	20

附属施設等

附置研究所 熱帯医学研究所	21
附置研究所 原爆後障害医療研究所	21
附置研究所 高度感染症研究センター	22

附属図書館	22
病院	23
教育学部附属学校・園	24
保健センター	25
長崎大学教育研究プロジェクト拠点	26
国際交流推進室	26

特色ある教育・研究

特色ある教育	27
特色ある研究	28

学生数等

学生数	29
令和8年度入学状況	31
令和7年度卒業生（修了者）及び進路状況	32
過去5年間の進路状況の推移	33
学位授与数	34

国際交流

令和8年度外国人留学生	35
海外の大学等との学術交流協定締結状況	36

社会貢献

産学連携	43
------	----

財 政

令和8年度予算額	44
外部資金等	44

キャンパス

文教キャンパス	45
坂本キャンパス	46
片淵キャンパス	48
厚生補導施設等	49
土地・建物・船舶	50
部局等所在地一覧	52
長崎大学位置図	54
長崎大学ロゴマーク	55



沿革

安政4（1857）年9月26日（11月12日）、オランダ海軍医として来日していたポンペ・ファン・メールデルフォールトが、長崎奉行所西役所において医学伝習を開始したことをもって、長崎大学の創基とする。

安政4. 11 (1857年)	・長崎奉行所西役所の一室において医学伝習を開始	11. 1 (1878年)	・長崎病院医学場を長崎医学校と改称
文久元. 9 (1861年)	・養生所を開設（長崎大学病院の起源）	2	・官立長崎師範学校廃止。建物及び備品は長崎県に移管
	・医学所を養生所横に併置（医学教育機関としての整備が完了）	6	・崎陽師範学校を長崎師範学校と改称
慶応元 (1865年)	・養生所を精得館と改称。10月、物理・化学などの基礎科学教育機関である分析窮理所を設置	12. 1 (1879年)	・長崎医学校を県立とし、長崎病院を医学校附属に代用
明治元. 10 (1868年)	・精得館を長崎府医学校と改称	16 (1883年)	・文部省令医学校通則に基づいて、長崎医学校は甲種医学校（卒業後無試験で医師免許を授与。全国で13校）に指定される
2 (1869年)	・長崎県病院医学校	17. 6 (1884年)	・長崎県女子師範学校設置
4. 10 (1871年)	・長崎県病院医学校が文部省所管となり、長崎医学校と改称	19. 4 (1886年)	・長崎県女子師範学校が長崎師範学校女子部となる
7 (1874年)	・台湾出兵により、長崎医学校廃止。病院は藩地事務支局病院となる	6	・長崎師範学校女子部に附属幼稚園を設置
2	・官立長崎師範学校設置	6	・師範学校令が公布され、長崎師範学校は長崎県尋常師範学校と改称
3	・長崎県小学教則講習所設置	20. 8 (1887年)	・中学校令に基づいて第五高等中学校医学部を設置。9月、長崎医学校は廃止
8 (1875年)	・台湾出兵終了により、藩地事務支局病院の建物等が長崎県に復帰。政府補助のもと長崎病院を設置	23. 6 (1890年)	・第五高等中学校医学部に薬学科を設置（薬学部起源）
2	・長崎県小学教則講習所を養成所と改称	24. 9 (1891年)	・西彼杵郡浦上山里村に第五高等中学校医学部、同薬学科が新築移転（坂本キャンパスの設置起源）
11	・官立長崎師範学校附属小学校開設	27. 9 (1894年)	・高等学校令に基づいて第五高等中学校医学部は第五高等学校医学部及び同薬学科と改称
9. 1 (1876年)	・養成所を小学教師養成所と改称	31. 4 (1898年)	・師範教育令に基づいて、長崎県尋常師範学校は長崎県師範学校と改称
5	・小学教師養成所を長崎県公立師範学校と改称	34. 3 (1901年)	・専門学校令に基づいて、第五高等学校医学部は第五高等学校から分離独立し長崎医学専門学校及び同薬学科を設置
6	・長崎病院内に医学場を開設し、医学教育機関が再開		
10. 4 (1877年)	・長崎県公立師範学校を崎陽師範学校と改称		

36 (1903年)	・ 長崎県立長崎病院に附属看護婦養成所を設置	14. 5 (1939年)	・ 長崎医科大学に臨時附属医学専門部設置
38. 3 (1905年)	・ 長崎高等商業学校を設置（経済学部、片淵キャンパスの起源）	17. 3 (1942年)	・ 長崎県青年学校教員養成所女子部を諫早高等女学校内に開設
41. 4 (1908年)	・ 長崎県師範学校女子部が長崎県女子師範学校として分離独立	3	・ 長崎医科大学附属東亜風土病研究所設置（熱帯医学研究所の起源）
大正 6. 5 (1917年)	・ 長崎高等商業学校に海外貿易科を設置	9	・ 長崎高等商業学校研究館を大東亜経済研究所と改称
9. 11 (1920年)	・ 長崎高等商業学校に研究館が寄附される（現在の瓊林会館）	18. 4 (1943年)	・ 師範教育令改正に基づいて、長崎県師範学校・長崎県女子師範学校が統合されて官立長崎師範学校となり、専門学校水準に昇格
10 (1921年)	・ 長崎県実業補習学校教員養成所を諫早町に設置	19. 3 (1944年)	・ 長崎高等商業学校を長崎経済専門学校に改称
11. 4 (1922年)	・ 長崎県より長崎病院が国に寄附され、これを長崎医学専門学校附属医院とする	4	・ 長崎経済専門学校に長崎工業経営専門学校を併設
12. 3 (1923年)	・ 附属医院に助産婦及看護婦養成所を設置		・ 師範教育令改正に基づいて、長崎県青年学校教員養成所（男子部・女子部）は官立長崎青年師範学校となり、専門学校水準に昇格、長崎県青年学校教員養成所水産科は廃止
	・ 官立医科大学官制によって長崎医学専門学校は長崎医科大学に昇格し、附属医学専門部及び附属薬学専門部を併置		・ 長崎医科大学の臨時附属医学専門部を附属医学専門部に改称
14. 4 (1925年)	・ 長崎医科大学附属医学専門部廃止	20. 6 (1945年)	・ 長崎医科大学附属医院産婆看護婦養成所を厚生女学部へ改称
昭和 3 (1928年)	・ 長崎県実業補習学校教員養成所に水産科新設（水産学部の起源）	8	・ 長崎市に原爆投下 長崎医科大学（附属医学専門部、附属薬学専門部を含む）898名、長崎師範学校54名、長崎高等商業学校27名、長崎青年師範学校1名の計980名の学生、教職員が犠牲となる
4. 2 (1929年)	・ 長崎医科大学附属医院助産婦及看護婦養成所を産婆看護婦養成所に改称		
3	・ 長崎高等商業学校に貿易別科設置		
12	・ 長崎医科大学附属野母臨海実験所落成		
10. 4 (1935年)	・ 長崎県実業補習学校教員養成所を長崎県立青年学校教員養成所と改称		
12. 4 (1937年)	・ 長崎県師範学校、西彼杵郡西浦上村に新築移転（現在の附属小・中学校敷地）		

・原爆被災後の復興の歴史は次のとおりです。

21. 4 (1946年)	・長崎工業経営専門学校廃止。大東亜経済研究所を産業経営研究所と改称	4	・水産学部 to 専攻科（特設専攻科）設置
22. 3 (1947年)	・長崎医科大学附属東亜風土病研究所，同風土病研究所と改称	29. 4 (1954年)	・長崎大学大村分校を長崎大学分校と改称
5	・長崎医科大学附属医学専門部廃止	30. 4 (1955年)	・経済学部 to 経済学専攻科設置
23. 4 (1948年)	・長崎高等学校（旧制）設置	31. 1 (1956年)	・医学部に講座制施行
24. 5 (1949年)	・長崎青年師範学校に水産科再設置	4	・大学院医学研究科設置
	・国立学校設置法（昭和24年法律第150号）により，旧制の長崎医科大学，長崎医科大学附属薬学専門部，長崎経済専門学校，長崎師範学校，長崎青年師範学校，長崎高等学校を包括し，学芸学部（甲類・小学校教員養成科，中学校高等学校教員養成科，乙類・小学校教員養成科，中学校高等学校教員養成科），経済学部（経済学科，商学科），医学部（医学科），薬学部（薬学科），水産学部（漁業学科，水産製造学科，水産増殖学科）の5学部 to 附属図書館を置き，風土病研究所が附置され，学部附属の学校又は教育施設として，学芸学部 to 小学校，中学校，幼稚園，医学部に病院，病院分院，看護婦養成施設を持つ新制長崎大学を設置	35. 3 (1960年)	・医学部に附属助産婦学校設置
昭和25. 3 (1950年)	・長崎高等学校廃止	4	・補導部を学生部と改称
5	・大村一般教養部，長崎一般教養部を統合して大村分校設置	37. 4 (1962年)	・薬学部 to 薬学専攻科設置
26. 3 (1951年)	・長崎大学商業短期大学部併設	39. 4 (1964年)	・長崎医科大学廃止
	・医学部附属看護学校設置	40. 3 (1965年)	・水産学部 to 水産専攻科設置
6	・長崎医科大学附属薬学専門部，長崎経済専門学校，長崎師範学校，長崎青年師範学校廃止	41. 4 (1966年)	・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置
27. 6 (1952年)	・厚生補導部を補導部と改称	42. 4 (1967年)	・教養部設置（分校廃止）
28. 3 (1953年)	・水産学部 to 附属練習船「長崎丸」竣工	6	・薬学専攻科廃止
	・学芸学部が長崎市大橋町に移転（現在の文教キャンパス）	43. 4 (1968年)	・大学院薬学研究科設置
		44. 4 (1969年)	・学芸学部 to 学芸専攻科設置
		12	・保健管理センター設置
			・工学部（機械工学科，電気工学科）設置
			・学芸学部を教育学部と改称，これに伴い学芸専攻科を教育専攻科に改称
			・教育学部に養護学校教員養成課程設置
			・薬学部 to 製薬化学科設置
			・工学部に構造工学科設置
			・風土病研究所を熱帯医学研究所と改称
			・水産学部 to 附属水産実験所設置
			・経済学部 to 貿易学科設置
			・工学部に土木工学科設置
			・電子計算機室設置

45. 4 (1970年)	・水産専攻科改廃止（漁業専攻中の特設専攻科を遠洋漁業専攻と改称し、漁業専攻、水産製造専攻、水産増殖専攻は廃止） ・大学院水産学研究科設置 ・工学部に材料工学科設置	51. 4 (1976年)	・工学部に電子工学科設置 ・大学院工学研究科設置（機械工学・電気工学・構造工学・材料工学） ・工学研究科に工業化学専攻設置 ・九州地区国立大学島原共同研修センター設置
46. 2 (1971年)	・附属図書館の整備統合（教育学部分館、薬学部分館、水産学部分館、熱帯医学研究所分館廃止・経済学部分館、医学部分館は従来どおり存置）	52. 4 (1977年)	・工学研究科に土木工学専攻設置 ・工学専攻科廃止 ・歯学部創設準備室設置
4 (1972年)	・教育学部に附属養護学校設置 ・経済学部商学科を経営学科と改称 ・大学院薬学研究科に製薬化学専攻設置 ・工学部に工学専攻科（機械工学、電気工学、構造工学）設置	53. 3 (1978年)	・商業短期大学部商業学科を商経学科（経済・法律専攻、経営情報専攻）と改称 ・R I センター設置 ・工学部に機械工学第二学科設置
47. 4 (1972年)	・工学部に工業化学科設置 ・医学部に附属原爆医学資料センター設置 ・薬学部附属薬用植物園設置	54. 4 (1979年)	・熱帯医学研究所に附属熱帯性病原体感染動物実験施設設置 ・附属図書館医学部分館を医学分館と改称 ・情報処理センター設置（電子計算機室廃止）
48. 4 (1973年)	・水産学部の漁業学科、水産製造学科及び水産増殖学科を水産学科に改組 ・工学部工学専攻科に土木工学専攻設置 ・教育学部に附属教育工学センター設置	5 (1980年)	・歯学部歯学科設置 ・歯学部創設準備室廃止 ・排水等分析処理センター設置（排水等分析センター廃止）
49. 4 (1974年)	・大学院水産学研究科漁業学専攻、水産製造学専攻及び水産増殖学専攻を水産学専攻に改称 ・工学部工学専攻科に材料工学専攻設置 ・教育学部に幼稚園教員養成課程設置 ・医学部附属原爆医学資料センターを医学部附属原爆被災学術資料センターと改称 ・熱帯医学研究所に附属熱帯医学資料室設置	10 (1981年)	・歯学部附属病院創設準備室設置 ・工学研究科に電子工学専攻設置 ・歯学部附属病院設置 ・歯学部附属病院創設準備室廃止
50. 4 (1975年)	・水産学部に附属練習船「鶴洋丸」竣工 ・排水等分析センター設置	11 (1982年)	・商業短期大学部商経学科の専攻課程を2専攻課程から3専攻課程（経済専攻、経済法学専攻、経営情報専攻）に改組 ・工学研究科に機械工学第二専攻設置 ・医療技術短期大学部創設準備室設置 ・国際交流会館設置
6		55. 4 (1980年)	
		56. 4 (1981年)	
		57. 4 (1982年)	
		58. 4 (1983年)	

59. 4 (1984年)	・医療技術短期大学部（看護学科）併設 ・医療技術短期大学部創設準備室廃止 ・商業短期大学部を商科短期大学部と改称 ・水産学部水産学科18講座を6大講座に改組	平成元. 5 (1989年)	・熱帯医学研究所を全国共同利用の研究所に改組
10	・医療技術短期大学部に理学療法学科及び作業療法学科設置	2. 4 (1990年)	・工学部機械工学科及び機械工学第二学科を機械システム工学科に改組
61. 4 (1986年)	・医学部附属看護学校廃止 ・大学院歯学研究科設置 ・薬学研究科に医療薬科学専攻（博士課程前・後期）設置（薬学専攻及び製薬化学専攻を改組） ・薬学部の薬学科及び製薬化学科を薬科学科に改組 ・教育学部に附属教育実践研究指導センター設置（附属教育工学センター廃止）	6	・地域共同研究センター設置
6	・計測・分析センター設置 ・外国人留学生指導センター設置	3. 4 (1991年)	・経済学部経済学科8学科目を3大学科目に、経営学科8学科目を2大学科目に、貿易学科6学科目をファイナンス学科2大学科目に改組、2共通学科目を廃止
9	・環境保全センター設置（排水等分析処理センター廃止）	4. 4 (1992年)	・工学部構造工学科4講座を2大講座に、土木工学科4講座を社会開発工学科2大講座に、材料工学科4講座を2大講座に、工業化学科4講座を応用化学科2大講座に改組
62. 4 (1987年)	・医学部附属助産婦学校廃止 ・工学研究科に海洋生産開発学専攻（後期3年博士課程）設置 ・医療技術短期大学部に専攻科（助産学特別専攻）設置	5. 4 (1993年)	・アイソトープ総合センター設置（RIセンター廃止）
63. 4 (1988年)	・大学院海洋生産科学研究科（後期3年博士課程）設置 ・大学院工学研究科海洋生産開発学専攻は、海洋生産科学研究科へ移行 ・工学部電気工学科及び電子工学科を電気情報工学科に改組 ・総合情報処理センター設置（情報処理センター廃止）	6. 4 (1994年)	・大学院工学研究科電気工学専攻及び電子工学専攻を電気情報工学専攻と改称
		6	・生涯学習教育研究センター設置
		7. 4 (1995年)	・大学院教育学研究科設置 ・教育専攻科廃止
		8. 5 (1996年)	・大学院工学研究科機械工学専攻及び機械工学第二専攻を機械システム工学専攻と改称
		9. 4 (1997年)	・熱帯医学研究所10部門を3大部門に改組 ・大学院経済学研究科設置 ・経済学専攻科廃止 ・大学院工学研究科土木工学専攻を社会開発工学専攻に、工業化学専攻を応用化学専攻に改称 ・留学生センター設置（外国人留学生指導センター廃止） ・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置（附属原爆後障害医療研究施設及び附属原爆被災学術資料センター廃止）

10	・水産学部に附属海洋資源教育研究センター設置（附属水産実験所廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯病資料情報センター設置（附属熱帯医学資料室廃止） ・環境科学部（環境科学科）設置 ・教養部廃止 ・経済学部経済学科，経営学科及びファイナンス学科を総合経済学科に改組（昼夜開講制の実施）	13. 4 (2001年)	・大学院生産科学研究科海洋生産開発学専攻及び海洋資源学専攻を海洋生産科学専攻及び物質科学専攻に改組 ・教育学部に附属教育実践総合センター設置（附属教育実践研究指導センター廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯感染症研究センター設置（附属熱帯病資料情報センター廃止） ・医学部医学科の31小講座，1大講座を6大講座に改組
10. 4 (1998年)	・教育学部小学校教員養成課程，中学校教員養成課程，養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程を学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程に改組 ・大学院教育学研究科教科教育専攻に保健体育専攻及び家政教育専攻設置 ・工学部電気情報工学科を電気電子工学科及び情報システム工学科に改組 ・機器分析センター設置（計測・分析センター廃止）	10	・医学部に保健学科設置 ・大学院環境科学研究科設置 ・大学院医歯薬学総合研究科設置 ・大学教育機能開発センター設置 ・アドミッションセンター設置 ・医学部医学科の6大講座を4大学科目に改組 ・歯学部歯学科の18小講座を3大学科目に改組
11. 4 (1999年)	・大学院薬学研究科に臨床薬学専攻（独立専攻）を設置し，医療薬科学専攻を薬科学専攻に改称 ・副学長の設置（学生部長の廃止） ・事務局及び学生部の事務局一元化に伴い，学務部設置（学生部の廃止）	11. 4 (2002年)	・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行） ・先導生命科学研究支援センター設置（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設の廃止）
12. 4 (2000年)	・大学院教育学研究科教科教育専攻に社会科教育専攻及び理科教育専攻設置 ・大学院医学研究科に新興感染症病態制御学系専攻（独立専攻）設置 ・大学院生産科学研究科（区分制博士課程）設置 ・遺伝子実験施設設置 ・長崎大学商科短期大学部（併設）廃止	15. 4 (2003年)	・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行） ・医学部・歯学部附属病院設置（医学部附属病院及び歯学部附属病院の統合） ・国立大学法人法（平成15年法律第112号）により，国立大学法人長崎大学が長崎大学を設置 ・大学院経済学研究科に経営意思決定専攻（博士後期課程）設置

	・大学院生産科学研究科に環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻（博士前期課程）並びに環境科学専攻（博士後期課程）設置 ・水産学部の水産専攻科廃止 ・知的財産本部設置		・熱帯医学研究所に附属アジア・アフリカ感染症研究施設及び附属熱帯医学ミュージアム設置（附属熱帯感染症研究センター廃止） ・保健管理センターを保健・医療推進センターに改組
12	・情報メディア基盤センター設置（総合情報処理センターの廃止） ・共同研究交流センター設置（地域共同研究センター、機器分析センター及び環境保全センターの廃止）	21. 4 (2009年)	・医学部・歯学部附属病院を病院に改組 ・男女共同参画推進センター設置（時限設置）
17. 4 (2005年)	・計画・評価本部設置 ・国際連携研究戦略本部設置 ・環東シナ海海洋環境資源研究センター設置（水産学部附属海洋資源教育研究センターの廃止） ・心の教育総合支援センター設置（時限設置） ・長崎大学医療技術短期大学部（併設）廃止	22. 4 (2010年)	・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（修士課程）設置 ・広報戦略本部設置 ・国際連携研究戦略本部東京オフィス設置 ・先端計算研究センター設置
18. 2 (2006年)	・大学院海洋生産科学研究科廃止	11	・国際連携研究戦略本部東京オフィスを長崎大学東京事務所に改組
4	・大学院医歯薬学総合研究科に熱帯医学専攻（修士課程）及び保健学専攻（修士課程）設置 ・薬学部薬科学科を6年制課程の薬学科及び4年制課程の薬科学科に改組	23. 4 (2011年)	・工学部7学科（機械システム工学科，電気電子工学科，情報システム工学科，構造工学科，社会開発工学科，材料工学科及び応用化学科）を1学科（工学科）に改組 ・大学院工学研究科及び大学院水産・環境科学総合研究科設置（大学院生産科学研究科を改組） ・熱帯医学研究所3部門を4部門（病原体解析，宿主病態解析，環境医学，臨床研究）に改組
5	・大学院歯学研究科廃止		・環東シナ海海洋環境資源研究センターを大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターに改組
7	・産学官連携機構設置		・心の教育総合支援センターの廃止
19. 2 (2007年)	・大学院薬学研究科廃止 ・大学院環境科学研究科廃止		
3			
20. 4 (2008年)	・教育学部学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程の2課程を学校教育教員養成課程の1課程に改組 ・大学院教育学研究科に教科実践専攻（修士課程）及び教職実践専攻（専門職学位課程）設置 ・大学院国際健康開発研究科設置	6	・産学官連携戦略本部設置（産学官連携機構，知的財産本部，共同研究交流センター及び生涯学習教育研究センターの廃止）
		12	・研究推進戦略室設置
		24. 1 (2012年)	・先端創薬イノベーションセンター設置

4	・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（博士前期・後期）設置			・水産・環境科学総合研究科環境科学専攻（博士前期課程）の設置（環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻の改組）
	・大学院医学研究科廃止			・インスティテューショナル・リサーチ室の設置
	・言語教育研究センター設置		9	・男女共同参画推進センターをダイバーシティ推進センターに改組
12	・地域教育連携・支援センター設置		10	・地方創生推進本部の設置
25. 4 (2013年)	・原爆後障害医療研究所設置（大学院医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設を改組）	28. 4 (2016年)		・医歯薬学総合研究科災害・被ばく医療科学共同専攻（修士課程）の設置
7	・熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設の廃止 （熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設の機能を先導生命科学 研究支援センター動物実験施設へ集約化）			・医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻（博士課程）の設置
8	・障がい学生支援室の設置			・原子力災害対策戦略本部の設置
10	・国際教育リエゾン機構の設置（留学生センターの廃止）			・海洋未来イノベーション機構の設置
	・大学教育イノベーションセンターの設置（大学教育機能開発センター及びアドミッションセンターの統合）	10		・水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターを海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センターに改組
26. 4 (2014年)	・研究推進戦略本部の設置（研究推進戦略室の廃止）	29. 4 (2017年)		・子どもの心の医療・教育センターの設置
	・多文化社会学部の設置			・地域教育総合支援センターの設置（地域教育連携・支援センター及び教育学部附属教育実践総合センターの統合）
	・教育学研究科教職実践専攻の改組（教育学研究科教科実践専攻を教職実践専攻に一本化）	6		・生命医科学域の設置
	・ICT 基盤センターの設置（情報メディア基盤センターの廃止）			・感染症共同研究拠点の設置
	・福島未来創造支援研究センターの設置	30. 1 (2018年)		・医歯薬学総合研究科に附属先進予防医学研究センター設置
9	・原爆後障害医療研究所に附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター設置	3		・インスティテューショナル・リサーチ推進本部の設置（インスティテューショナル・リサーチ室の廃止）
27. 4 (2015年)	・熱帯医学・グローバルヘルス研究科（修士課程）の設置（医歯薬学総合研究科熱帯医学専攻及び国際健康開発研究科の改組）	4		・国際健康開発研究科の廃止
				・多文化社会学研究科多文化社会学専攻（修士課程）の設置
				・熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻（博士後期課程）及び長崎大学—ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）の設置
				・先端計算研究センターの廃止
				・生産科学研究科の廃止

7	・グローバル連携機構，研究開発推進機構，留学生教育・支援センター及び環境保全センターの設置（国際連携研究戦略本部，産学官連携戦略本部，研究推進戦略本部及び国際教育リエゾン機構の改組）	7	・海洋未来イノベーション機構に実海域技術開発研究推進センターの設置
10	・校友会の設置	10	・パンデミック総合研究センターの設置
31. 4 (2019年)	・人文社会科学域及び総合生産科学域の設置	8. 1 (2026年)	・地球未来オープンリサーチセンターの設置
令和元. 10 (2019年)	・キャリアセンターの設置	4	・グローバル機構の設置（グローバル連携機構及び留学生教育・支援センターの統合）
2. 4 (2020年)	・情報データ科学部の設置		
	・多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）の設置		
7	・教育開発推進機構の設置（大学教育イノベーションセンター及び地域教育総合支援センターの改組）		
3. 4 (2021年)	・保健・医療推進センターを保健センターに改組		
10	・放射線総合センターの設置（先導生命科学支援センターの改組）		
4. 4 (2022年)	・感染症研究出島特区の設置		
	・高度感染症研究センターの設置（感染症共同研究拠点の廃止） 高度感染症研究センターに附属BSL-4施設を設置		
	・教員免許状更新講習支援室の廃止		
10	・プラネタリーヘルス学環の設置		
6. 4 (2024年)	・総合生産科学研究科の設置		
6	・グローバルリスク研究センターの設置		
10	・ディベロップメントオフィスの設置		
7. 4 (2025年)	・未来教育創造センターの設置		
	・原爆後障害医療研究所の改組（附属放射線・環境健康影響共同研究推進センターの廃止）		

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



組 織

機 構 図

2026. 7. 1

学長選考・監察会議

学 長

- 計画・評価本部
- 広報戦略本部
- 原子力災害対策戦略本部
- インスティテュショナル・リサーチ推進本部
- ダイバーシティ推進センター
- ディベロップメントオフィス
- 校友会

- 感染症研究出島特区
- バイオセーフティ管理監室

役 員 会

経 営 協 議 会

教育研究評議会

理事(7)

監事(2)

人 文 社 会 科 学 域 ※

総 合 生 産 科 学 域 ※

生 命 医 科 学 域 ※

多 文 化 社 会 学 部

教 育 学 部

経 済 学 部

医 学 部

歯 学 部

薬 学 部

情 報 デ ー タ 科 学 部

工 学 部

環 境 科 学 部

水 産 学 部

多文化社会学研究科

教育学研究科

経済学研究科

総合生産科学研究科

医歯薬学総合研究科

熱帯医学・グローバルヘルス研究科

プラネタリーヘルス学環

熱 帯 医 学 研 究 所

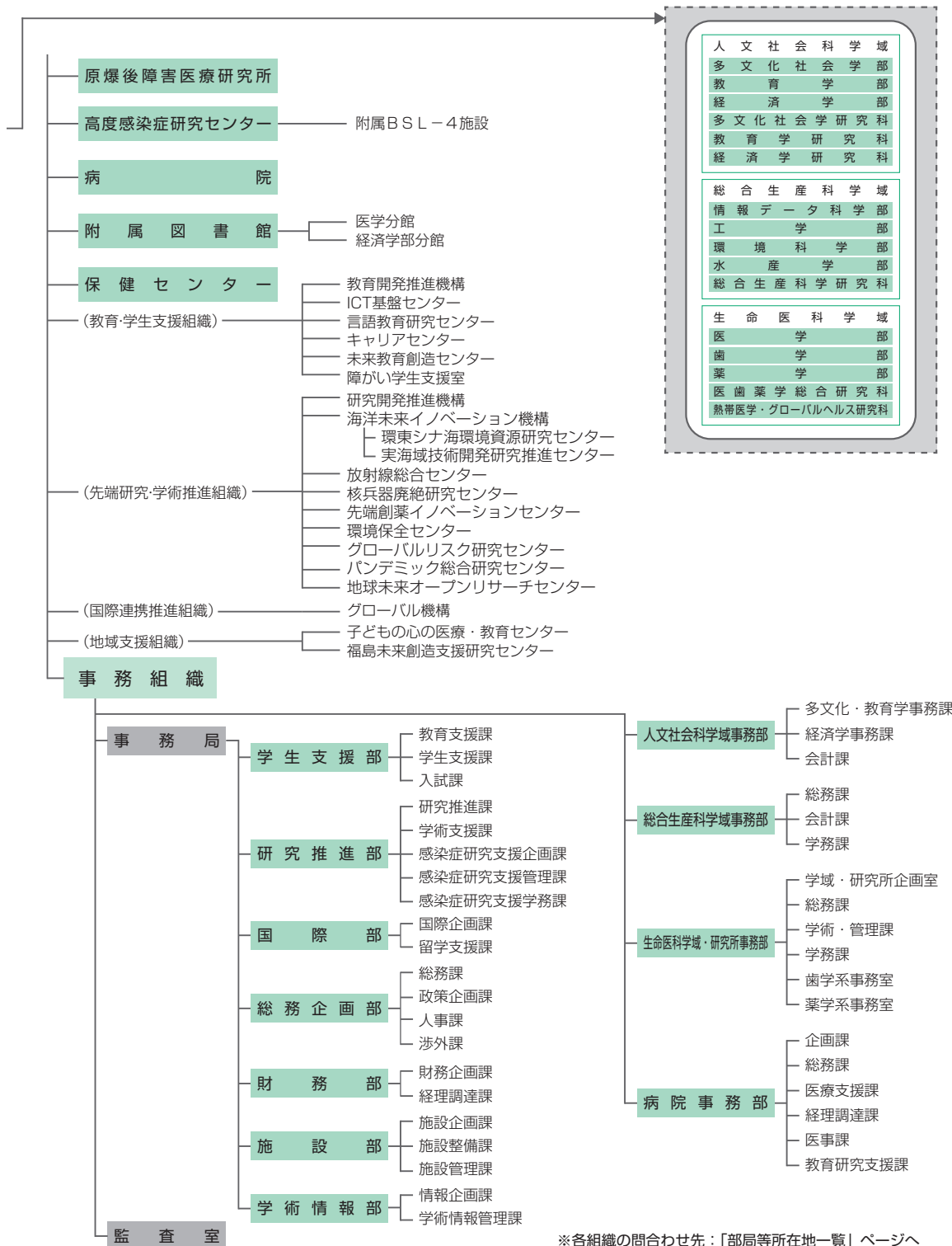
※学域は教育研究組織から独立した教員組織

- 附属幼稚園
- 附属小学校
- 附属中学校
- 附属特別支援学校

- 附属練習船長崎丸
- 附属練習船鶴洋丸

- 附属先進予防医学研究センター
- 附属薬用植物園

- 附属アジア・アフリカ感染症研究施設
- 附属熱帯医学ミュージアム



歴代学長

初 代	高 瀬 清	(任期：昭和24年 6 月29日～昭和27年 6 月 5 日)
(事務取扱)	池 田 晋 吾	(任期：昭和27年 6 月 6 日～昭和27年11月17日)
第 2 代	古屋野 宏 平	(任期：昭和27年11月18日～昭和33年11月17日)
第 3 代	北 村 精 一	(任期：昭和33年11月18日～昭和37年11月17日)
第 4 代	和 泉 成 之	(任期：昭和37年11月18日～昭和41年11月17日)
第 5 代	後 藤 敏 郎	(任期：昭和41年11月18日～昭和44年 4 月 3 日)
(事務取扱)	栗 原 道 徳	(任期：昭和44年 4 月 4 日～昭和44年 5 月 6 日)
第 6 代	中 塚 正 行	(任期：昭和44年 5 月 7 日～昭和49年 7 月31日)
(事務取扱)	保 田 正 人	(任期：昭和49年 8 月 1 日～昭和49年10月10日)
第 7 代	具 島 兼三郎	(任期：昭和49年10月11日～昭和55年10月10日)
第 8 代	福 見 秀 雄	(任期：昭和55年10月11日～昭和59年10月10日)
第 9 代	保 田 正 人	(任期：昭和59年10月11日～昭和63年10月10日)
第 10 代	土 山 秀 夫	(任期：昭和63年10月11日～平成 4 年10月10日)
第 11 代	横 山 哲 夫	(任期：平成 4 年10月11日～平成10年10月10日)
第 12 代	池 田 高 良	(任期：平成10年10月11日～平成14年10月10日)
第 13 代	齋 藤 寛	(任期：平成14年10月11日～平成20年10月10日)
第 14 代	片 峰 茂	(任期：平成20年10月11日～平成29年 9 月30日)
第 15 代	河 野 茂	(任期：平成29年10月 1 日～令和 5 年 9 月30日)
第 16 代	永 安 武	(任期：令和 5 年10月 1 日～現在)

役員会構成員				2026. 7. 1
議長	永安 武	学長	西田 教行	理事（研究・戦略企画担当）
	森口 勇	理事（総務・報道担当）	安武 敦子	理事（学生・国際担当）
	岩瀬 鎮男	理事（財務・施設担当）	田川 伸一	理事（社会共創担当）
	中村 典生	理事（教学担当）	小川 洋	理事（基金・校友会・地域連携担当）

学長選考・監察会議委員				2026. 7. 1
議長	八橋 弘	長崎県病院企業団企業長	森口 勇	理事
	片山 仁志	元日本銀行人事局参事	岩瀬 鎮男	理事
	倉持 隆雄	国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター上席フェロー	藤本 登	教育学部長
	田川耕太郎	長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校校長 （長崎県高等学校長協会会長）	池田 裕明	歯歯薬学総合研究科長
	谷口 功	独立行政法人国立高等専門学校機構前理事長・顧問 国立大学法人熊本大学元学長・顧問	西村 宣彦	人文社会科学域長
	西 亮	滲透工業株式会社代表取締役社長	木村 正成	総合生産科学域長
	馬場 裕子	長崎県副知事	池松 和哉	生命医科学域長

経営協議会委員				2026. 7. 1
議長	永安 武	学長	片山 仁志	元日本銀行人事局参事
	森口 勇	理事	倉持 隆雄	国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター上席フェロー
	岩瀬 鎮男	理事	高田 春奈	株式会社エスプリングホールディングス代表取締役社長
	西田 教行	理事	田川耕太郎	長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校校長 （長崎県高等学校長協会会長）
	安武 敦子	理事	谷口 功	独立行政法人国立高等専門学校機構前理事長・顧問 国立大学法人熊本大学元学長・顧問
	藤本 登	教育学部長	谷本 秀夫	京セラ株式会社特別顧問
	井田 洋子	経済学部長	西 亮	滲透工業株式会社代表取締役社長
	原 哲也	医学部長	馬場 裕子	長崎県副知事
	坂口 大作	工学部長	平家 達史	長崎放送株式会社顧問・論説委員
	尾崎 誠	病院長	八橋 弘	長崎県病院企業団企業長
			山口やよい	さくらインターネット株式会社常勤社外監査役 山口会計事務所代表

教育研究評議会評議員				2026. 7. 1
議長	永安 武	学長	王 維	多文化社会学研究科長
	森口 勇	理事	河本 和明	総合生産科学研究科長
	岩瀬 鎮男	理事、事務局長	池田 裕明	歯歯薬学総合研究科長
	中村 典生	理事	橋爪 真弘	熱帯医学・グローバルヘルス研究科長
	西田 教行	理事	平山 謙二	プラネタリーヘルス学環長
	安武 敦子	理事	金子 聰	熱帯医学研究所長
	田川 伸一	理事	中島 正洋	原爆後障害医療研究所長
	小川 洋	理事	森内 浩幸	高度感染症研究センター長
	野上 建紀	多文化社会学部長	尾崎 誠	病院長
	藤本 登	教育学部長	山口 敦子	附属図書館長
	井田 洋子	経済学部長	吉田 文彦	核兵器廃絶研究センター長
	原 哲也	医学部長	西村 宣彦	人文社会科学域長
	角 忠輝	歯学部部長	木村 正成	総合生産科学域長
	西田 孝洋	薬学部部長	池松 和哉	生命医科学域長
	柴田裕一郎	情報データ科学部長	沖田 実	医学部保健学科長
	坂口 大作	工学部長	中道 聖子	保健センター長
	長江 真樹	環境科学部長	才津祐美子	副学長
	阪倉 良孝	水産学部長	井上 徹志	副学長

役職員

2026. 7. 18

役員		
学長	永安	武
理事（総務・報道担当）	森口	勇
理事（財務・施設担当）	岩瀬	鎮男
理事（教学担当）	中村	典生
理事（研究・戦略企画担当）	西田	教行
理事（学生・国際担当）	安武	敦子
理事（社会共創担当）（非常勤）	田川	伸一
理事（基金・校友会・地域連携担当）（非常勤）	小川	洋
監事	池松	誠二
監事（非常勤）	波多	順子
執行役員 人文社会科学域担当	西村	宣彦
執行役員 総合生産科学域担当	木村	正成
執行役員 生命医科学域担当	池松	和哉
執行役員 病院担当	尾崎	誠

副学長		
学生担当	才津祐美子	
入試担当	井上	徹志
国際交流担当	蔣	宇静
広報担当	松井	史郎
ダイバーシティ推進担当	門脇	知子
情報・DX推進担当	高田	英明

学長特別補佐・学長補佐		
BSL-4 担当	笠谷	圭吾
海外拠点研究担当	金子	聰
産学連携（医療）担当	柳原	克紀
海洋技術社会連携担当	山本	郁夫
学長補佐	吉田	朝美
学長補佐	向井	英史
学長補佐	中島	貴奈
学長補佐	藤本	孝文
学長補佐	友澤	悠季
学長補佐	井	隆司
学長補佐	西川美香子	
学長補佐	成田真樹子	
学長補佐	田中	貴子
学長補佐	松永妃都美	
学長補佐	森保	妙子

計画・評価本部		
本部長	永安	武

広報戦略本部		
本部長	上原	貴之

原子力災害対策戦略本部		
本部長	尾崎	誠
事務局長	高比良	治

インスティテューショナル・リサーチ推進本部		
本部長	西田	教行

ダイバーシティ推進センター		
センター長	門脇	知子

ディベロップメントオフィス		
室長	小川	洋

監査室		
室長	山口	真邦

事務局		
事務局長	岩瀬	鎮男
学生支援部長	堀	和也
教育支援課長	口石	隆義
学生支援課長	池野	静香
キャリア支援室長	池野	静香
入試課長	田中	伸彦
研究推進部長	小寺孝太郎	
研究推進部次長	池野	和樹
研究推進課長	原口	剛
学術支援課長	吉岡	裕敏
感染症研究支援企画課長	米田	征徳
感染症研究支援管理課長	大西	誠
感染症研究支援学務課長	池野	和樹
国際部長	植村	正樹
国際企画課長	橋口	文
留学支援課長	末次剛健志	
総務企画部長	上原	貴之
総務課長	村上	陽介
政策企画課長	鶴原	寛之
人事課長	五島	博史
業務支援室長	田中	宏智
渉外課長	多田	拓朗
財務部長	細田	雄三
財務企画課長	今泉	守正
経理調達課長	入口	忠義
施設部長	安藤	豊幸
参事（キャンパス再編担当）	美濃	敏和
参事（坂本施設担当）	吉原	正剛
施設企画課長	青木	宏幸
施設整備課長	安藤	英崇
施設管理課長	福井	啓太
学術情報部長	青田	幸三
情報企画課長	土田	徹
学術情報管理課長	黒田	恵美

学部等		
人文社会科学域事務部		
人文社会科学域事務部長	笹田	健太
多文化・教育学事務課長	山口	秀喜
経済学事務課長	橋口	文子
会計課長	笹田	健太

総合生産科学域事務部		
総合生産科学域事務部長	一橋	透
総務課長	山田	一岳
会計課長	野田	真二
学務課長	橋本	善仁
海洋イノベーション室長	一橋	透

生命医科学域・研究所事務部		
生命医科学域・研究所事務部長	北村	寿朗
学域・研究所企画室長	北村	寿朗
総務課長	富田	高廣

学術・管理課長	高比良 秀一
学務課長	尾下 徳彦
歯学系事務室長	長友 佳織
薬学系事務室長	齋藤 圭

多文化社会学部

多文化社会学部部長	野上 建紀
-----------	-------

教育学部

教育学部部長	藤本 登
附属幼稚園長	長郷 志保
附属小学校長	森内 秀学
附属中学校長	刈山 弘全
附属特別支援学校長	田中 昭二

経済学部

経済学部部長	井田 洋子
--------	-------

医学部

医学部部長	原 哲也
-------	------

歯学部

歯学部部長	角 忠輝
-------	------

薬学部

薬学部部長	西田 孝洋
-------	-------

情報データ科学部

情報データ科学部部長	柴田裕一郎
------------	-------

工学部

工学部部長	坂口 大作
-------	-------

環境科学部

環境科学部部長	長江 真樹
---------	-------

水産学部

水産学部部長	阪倉 良孝
附属練習船長崎丸船長	森井 康宏
附属練習船鶴洋丸船長	青島 隆

大学院

多文化社会学研究科長	王 維
教育学研究科長	藤本 登
経済学研究科長	井田 洋子
総合生産科学研究科長	河本 和明
水産・環境科学総合研究科長	河本 和明
医歯薬学総合研究科長	池田 裕明
附属先進予防医学研究センター長	永田 康浩
附属薬用植物園長	西田 孝洋
熱帯医学・グローバルヘルス研究科長	橋爪 真弘
プラネタリーヘルス学環長	平山 謙二

附置研究所

熱帯医学研究所長	金子 聰
附属アジア・アフリカ感染症研究施設長	金子 聰
附属熱帯医学ミュージアム館長	飯島 渉
原爆後障害医療研究所長	中島 正洋
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター長	林田 直美
高度感染症研究センター長	森内 浩幸
附属BSL-4施設長	好井健太郎

病院

病院長	尾崎 誠
副病院長	
総務	西野 友哉
安全	松本桂太郎
診療	辻野 彰
経営	室田 浩之
研究・教育	三浦 清徳
歯科統括	鵜飼 孝
看護統括	宮原眞千世
事務統括・事務部長	近藤 政美
企画課長	原 善達
総務課長	柳川 順平
医療支援課長	杉森 智宏
経理調達課長	石田 亮二
医事課長	溝口 明邦
教育研究支援課長	林田 正昭

附属図書館

附属図書館長	山口 敦子
医学分館長	浜田 久之
経済学部分館長	南森 茂太

保健センター

センター長	中道 聖子
-------	-------

教育・学生支援組織

教育開発推進機構長	中村 典生
ICT基盤センター長	高田 英明
言語教育研究センター長	廣江 顕
キャリアセンター長	才津祐美子
未来教育創造センター長	松元 浩一
障がい学生支援室長	安武 敦子

先端研究・学術推進組織

研究開発推進機構長	西田 教行
海洋未来イノベーション機構長	河邊 玲
環東シナ海環境資源研究センター長	長阪 玲子
実海域技術開発研究推進センター長	内堀 洋
放射線総合センター長	横山 須美
核兵器廃絶研究センター長	吉田 文彦
先端創薬イノベーションセンター長	武田 弘資
環境保全センター長	森口 勇
グローバルリスク研究センター長	岩下 明裕
パンデミック総合研究センター長	吉田 彩子
地球未来オープンリサーチセンター長	中村 聖三

国際連携推進組織

グローバル機構長	安武 敦子
----------	-------

地域支援組織

子どもの心の医療・教育センター長	岩永竜一郎
福島未来創造支援研究センター長	高村 昇

人文社会科学域

学域長	西村 宣彦
-----	-------

総合生産科学域

学域長	木村 正成
-----	-------

生命医科学域

学域長	池松 和哉
-----	-------

役員・職員数

2026.5.1

(人)

部局	区分	役員・教職員											小計	その他の職員	合計
		学長	理事	監事	執行役員	副学長	学長特別補佐	学長補佐	教授	准教授	講師	助教	助手	教諭	
広報戦略本部									1					1	1
原子力災害対策戦略本部														0	2
ダイバーシティ推進センター										1				1	2
ディベロップメントオフィス														0	3
多文化社会学部														0	3
教育学部														0	2
経済学部														0	1
情報データ科学部														0	1
水産学部														0	1
総合生産科学研究科														0	37
医歯薬学総合研究科														0	22
熱帯医学・グローバルヘルス研究科														0	6
熱帯医学研究所									13	12		39		64	14
原爆後障害医療研究所									11	6		12		29	3
高度感染症研究センター									6	6		6		18	23
病院									25	19	48	158	82	332	1,553
附属幼稚園														7	7
附属小学校														32	32
附属中学校														25	25
附属特別支援学校														27	27
附属練習船長崎丸									1	2		2		5	15
附属練習船鶴洋丸										2		1		3	12
附属アジア・アフリカ感染症研究施設									2	3		5		10	10
附属熱帯医学ミュージアム									1					1	1
保健センター									1	2		1		4	11
教育開発推進機構									4	2		3		9	3
ICT基盤センター									2	3				5	5
言語教育研究センター									5	1	1	5		12	1
キャリアセンター										2				2	2
未来教育創造センター									1	1				2	2
障がい学生支援室										1				1	2
研究開発推進機構									1	3				4	23
海洋未来イノベーション機構									4	1				5	14
環東シナ海環境資源研究センター									4	2		1		7	7
放射線総合センター												1		1	1
核兵器廃絶研究センター									4	1				5	2
先端創薬イノベーションセンター									1					1	1
環境保全センター										1				1	1
グローバルリスク研究センター									1			1		2	2
パンデミック総合研究センター									1					1	1
グローバル機構									2	3		4		9	4
子どもの心の医療・教育センター												1		1	1
感染症研究出島特区									5	2				7	3
福島未来創造支援研究センター														0	1
人文社会科学域									45	66	2	22		135	135
総合生産科学域									71	84		35	1	191	3
生命医科学域									104	73	18	129		324	324
事務局		1	(2)	5	(1)	1	[4]	[6]	[4]	[11]				(3) [25]	284 (3) [25]
人文社会科学域事務局														0	41
総合生産科学域事務局														0	42
生命医科学域・研究所事務局														0	51
監査室														0	3
総計		1	(2)	5	(1)	1	[4]	[6]	[4]	[11]	316	299	69	426	83
														91	(3) [25]
														1,291	2,194 (3) [25]
															3,485

※理事（2）、監事（1）は、非常勤役員で外数。執行役員〔4〕、副学長〔6〕、学長特別補佐〔4〕及び学長補佐〔11〕は教育職員または理事の兼務で内数。



教育研究等

学 部		
学 部	学科・課程	講 座 等
多文化社会学部 1 学科 5 コース	多文化社会学科	国際公共政策 社会動態 共生文化 言語コミュニケーション オランダ特別
教育学部 1 課程 3 講座	学校教育教員養成課程	義務教育開発 中等教育 人間発達
経済学部 1 学科 2 コース 3 領域	総合経済学科	経済コース 国際ビジネス領域 経営コース 地域デザイン領域 社会イノベーション領域
医学部 2 学科 6 学科目	医学科	基礎医学 社会医学 臨床医学
	保健学科	看護学 理学療法学 作業療法学
歯学部 1 学科	歯学科	
薬学部 2 学科	薬学科	
	薬科学科	
情報データ科学部 1 学科	情報データ科学科	
工学部 1 学科 5 コース	工学科	機械工学 電気電子工学 構造工学 社会環境デザイン工学 化学・物質工学
環境科学部 1 学科 2 学系	環境科学科	人間社会環境 環境保全設計
水産学部 1 学科 4 講座	水産学科	海洋生産システム学 海洋資源動態科学 海洋生物機能科学 海洋物質科学

大 学 院		
研究科・学環	課 程	専 攻
多文化社会学研究科	博士前期課程 博士後期課程	多文化社会学専攻
教育学研究科	専門職学位課程	教職実践専攻
経済学研究科	博士前期課程	経済経営政策専攻
	博士後期課程	経営意思決定専攻

研究科・学環	課 程	専 攻
総合生産科学研究科	博士前期課程	総合生産科学専攻
	博士後期課程	
	博士課程 (5年一貫制)	
工学研究科	博士前期課程	総合工学専攻 ※2024年度以降募集停止
	博士後期課程	生産システム工学専攻 ※2024年度以降募集停止
	博士課程 (5年一貫制)	グリーンシステム創成科学専攻 ※2024年度以降募集停止
水産・環境科学 総合研究科	博士前期課程	環境科学専攻 ※2024年度以降募集停止
	博士後期課程	環境海洋資源学専攻 ※2024年度以降募集停止
医歯薬学 総合研究科	修士課程	保健学専攻 災害・被ばく医療科学共同専攻
	博士課程	医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻 先進予防医学共同専攻
	博士前期課程 博士後期課程	生命薬科学専攻
熱帯医学・グローバル ヘルス研究科	博士前期課程	グローバルヘルス専攻
	博士後期課程	グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛 生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻
プラネタリーヘルス 学環	博士後期課程	—

学 年 暦			
4月	1日(水) 学年始	12月	12月24日(木)～12月31日(木) 冬季休業
	2日(木) 入学式	1月	
5月	31日(日) 開学記念日	2月	
6月		3月	3月23日(火)～4月1日(木) 春季休業
7月			25日(木) 卒業式
8月	8月12日(水)～9月25日(金) 夏季休業		31日(水) 学年終
9月	28日(月) 後期授業開始		
10月	10月31日(土)～11月1日(日) 学園祭		
11月			



附属施設等

附置研究所 熱帯医学研究所

研究部門および研究分野	総 合 目 標
病原体解析部門 ウイルス学，新興感染症学，細菌学，原虫学， 寄生虫学，分子疫学 宿主病態解析部門 免疫遺伝学，感染生化学，病理学， エイズ・感染防御 環境医学部門 生態疫学，国際保健学， 国際健康開発政策学，病害動物学， 感染症疫学・動態学 臨床研究部門 臨床感染症学，呼吸器ワクチン疫学，小児感染症学， 臨床開発学，熱帯性ウイルス医薬品開発，感染ゲノム学 SHIONOGIグローバル感染症連携部門 アライアンスコーディネーター（熱研産学連携室）， 分子感染ダイナミクス解析，免疫病態制御学， 創薬探索研究 附属アジア・アフリカ感染症研究施設 附属熱帯医学ミュージアム	1. 熱帯医学及び国際保健における先導的研究 2. 研究成果の応用による熱帯病の防圧ならびに健康増進への国際貢献 3. 上記に係る研究者と専門家の育成

附置研究所 原爆後障害医療研究所

研究部門（研究分野）	目 的
放射線リスク学研究部門 放射線生物・防護学分野 健康リスク学分野 災害復興科学分野	放射線健康リスク評価とリスクコミュニケーション
放射線人体影響学研究部門 血液内科学分野 腫瘍・診断病理学分野 人類遺伝学分野 分子腫瘍・診断学分野	放射線人体影響の基礎研究
放射線展開医療学研究部門 幹細胞生物学分野 組織修復学分野 アイソトープ診断治療学分野	世界の被ばく医療と放射線の医療応用開発に資する研究
放射線疫学・統計学研究部門 健康社会統計学分野 放射線分子疫学分野	放射線リスクに関する情報発信、統計調査
放射線・環境健康影響共同研究部門 共同利用・共同研究推進センター 資料収集保存センター 資料調査室 生体材料保存室 長崎大学・福島復興推進拠点 甲状腺がん共同研究センター	放射線に関する共同研究の推進

附置研究所 高度感染症研究センター

部 門 等	目 的
研究部門 新興ウイルス、ウイルス生態、ウイルス感染動態、 ウイルス免疫動態、ウイルス制御、感染分子病態、 感染症糖鎖機能、ウイルス－宿主相互作用 BSL-4 人材育成部門 バイオリスク管理部門	有効な予防・治療がなく致死率が高い感染症を起こす病原体の研究 BSL-4 に関する教育訓練と人材育成 バイオセーフティ及びバイオセキュリティの管理と調査研究 高度安全実験施設における研究の実施と安全管理
附属BSL-4 施設 先端機器管理室、動物実験管理室、施設支援室 ブラジルプロジェクト拠点 リエゾン推進室	ブラジルにおける新興・再興感染症制御研究の推進 共同研究の推進、広報、地域連携などセンターの運営を支援

附属図書館

蔵 書 数

2026. 4. 1

館 名	図 書 数			雑 誌 の 種 類		
	和 漢 書	洋 書	計	和 文	欧 文	計
中 央 図 書 館	441,848	135,686	577,534	11,624	3,277	14,901
医 学 分 館	70,248	68,815	139,063	3,714	3,162	6,876
経 済 学 部 分 館	198,383	84,675	283,058	4,308	1,240	5,548
計	710,479	289,176	999,655	※18,883	※7,453	※26,336

※雑誌の種類は3館合計の重複数を除いた数を計上

利用状況（2025年度）

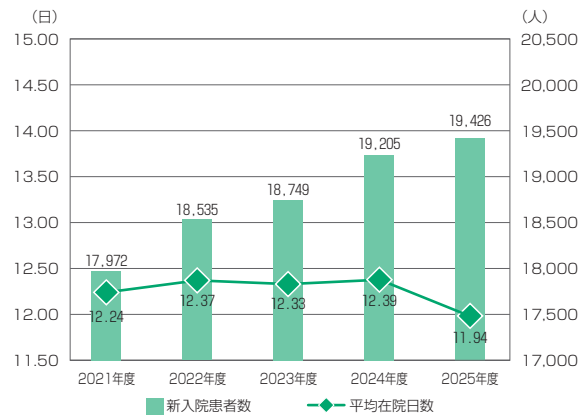
館 名	区 分	教 職 員	学 生	その他	計
中 央 図 書 館	入 館 者 数	6,752	256,095	2,291	265,138
	貸 出 冊 数	6,200	36,334	863	43,397
医 学 分 館	入 館 者 数	6,421	74,148	648	81,217
	貸 出 冊 数	2,270	5,789	26	8,085
経 済 学 部 分 館	入 館 者 数	3,602	40,232	1,995	45,829
	貸 出 冊 数	1,508	4,493	204	6,205
計	入 館 者 数	16,775	370,475	4,934	392,184
	貸 出 冊 数	9,978	46,616	1,093	57,687

病 院

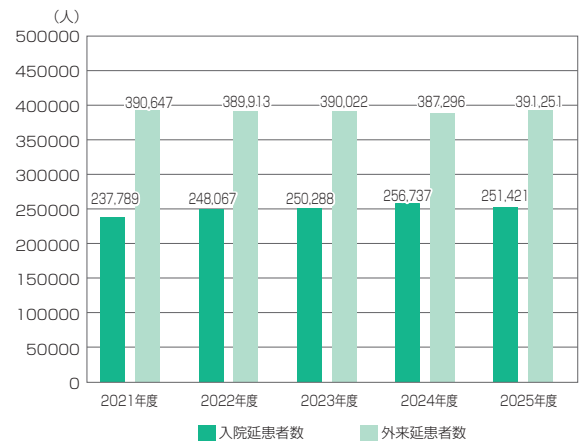
■診療データ（2025年度）

病床稼働率（％）				88.77
平均在院日数（日）				11.94
新入院患者数（人）				19,426
初診の患者数（人）				20,470
患者数（人）	入院	全体	入院延患者数 一日平均	251,421 689
		医科	入院延患者数 一日平均	248,395 681
		歯科	入院延患者数 一日平均	3,026 8
	外来	全体	外来延患者数 一日平均	391,251 1,617
		医科	外来延患者数 一日平均	311,237 1,286
		歯科	外来延患者数 一日平均	80,014 33
手術件数（件）				12,604
麻酔件数〈全身麻酔〉（件）				6,675
救急外来患者数（人）				3,786
ヘリコプターによる患者搬送数（件）				70
分娩件数（件）				423
臓器移植 手術件数 （件）	ドナー（脳死による提供）			0
	レ シ ビ エ ン ト	肺	脳死 生体	2 0
		肝	脳死 生体	3 12
		腎	脳死 献腎（心停止下） 生体	4 0 15
		脾	脳死 生体	2 0

新入院患者数と平均在院日数



患者数（入院・外来）



■病床数（2026年4月1日現在）

	(床)
一般病床	729
精神病床	39
結核病床	6
感染症病床	2
計	776

教育学部附属学校・園

2026.5.1 (人)

区 分	学級区分	学 年		学 級 数	学級定員	総 定 員	現 員
附属幼稚園		3 歳児		2	16	32	14
		4 歳児		1	32	32	30
		5 歳児		1	32	32	31
	計			4		96	75
附属小学校	普通学級	1		3	26	78	78
		2		3	26	78	76
		3		3	26	78	72
		4		3	26	78	71
		5		3	30	90	88
		6		3	30	90	78
	複式学級	1		1	12	12	6
		2		1	12	12	6
		3		1	12	12	6
		4		1	12	12	6
		5		1	16	16	8
		6		1	16	16	8
	計			21		532	503
附属中学校	普通学級	1		4	35	140	144
		2		4	35	140	144
		3		4	35	140	144
	計			12		420	432
附属 特別支援 学 校	普通学級 (2 学年複式)	小学部	1	1	6	18	3
			2				3
			3	1	6		3
			4				3
			5	1	6		3
			6				3
	普通学級	中学部	1	1	6	18	6
			2	1	6		6
			3	1	6		6
	普通学級	高等部	1	1	8	24	7
			2	1	8		6
			3	1	8		8
計			9		60	57	

保健センター

2026.5.1 (人)

職 員 (数)	セ ン タ ー 長 授	准 教 授	助 教	保 健 師	カ ウ ン セ ラ ー	事 務 職 員	計
	1	2 〔1〕	1	3	6	2	15 〔1〕

備考 保健センター（相談日）…毎日（平日のみ）
（注）〔 〕は兼務を示し外数

長崎大学教育研究プロジェクト拠点

名 称	所 在 地	設 置 目 的
長崎大学アフリカ海外教育研究拠点	ケニア共和国ナイロビ市	アフリカにおける教育・研究戦略の策定並びに国際共同研究及び教育活動の支援
長崎大学東南アジア海外教育研究拠点	ベトナム社会主義共和国ハノイ市	東南アジアにおける教育・研究戦略の策定並びに国際共同研究及び教育活動の支援
長崎大学英国教育研究プログラムオフィス	英国ロンドン市（ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院（LSHTM）内）	英国における国際共同研究及び教育活動の支援
長崎大学中南米海外教育研究拠点	ブラジル連邦共和国レシフェ市	中南米における教育・研究戦略の策定並びに国際共同研究及び教育活動の支援
ケニアプロジェクト拠点	ケニア共和国ナイロビ市（ケニア中央医学研究所内）	熱帯病・新興感染症研究プロジェクトの推進
ベトナムプロジェクト拠点 ニャチャン分室	ベトナム社会主義共和国ハノイ市（国立衛生疫学研究所内） ベトナム社会主義共和国ニャチャン市（カンファ県衛生局内）	
チョルノービリプロジェクト代表部	ウクライナキーウ市（国立ウクライナ医学アカデミー放射線医学研究センター内）	放射線健康リスク制御国際戦略拠点プログラムの推進
フィリピン共同研究センター	フィリピン共和国マニラ市（サン・ラザロ病院内）	フィリピンにおける教育研究プロジェクトの推進
ブラジルプロジェクト拠点	ブラジル連邦共和国レシフェ市（ペルナンブコ連邦大学内）	ブラジルにおける新興・再興感染症制御研究の推進
五島離島・へき地医療プロジェクト拠点	長崎県五島市（長崎県五島中央病院内）	寄附講座（離島・へき地医療学講座）の設置に関する協定書に基づく事業の推進
地域包括ケア教育研究室	長崎県長崎市（長崎みなとメディカルセンター内）	老年医学及び地域包括ケアシステムに係る教育研究活動の推進
遠隔病理育成拠点	千葉県鴨川市（亀田総合病院内）	ICTを用いた学生及び病理学従事者の教育並びにその効果的な体制に関する研究の推進
先進予防医学教育研究拠点	長崎県五島市（福江総合福祉保健センター内）	先進予防医学に係るコホート研究及び教育活動の推進
長崎大学・川内村復興推進拠点	福島県双葉郡川内村（川内村役場内）	福島県川内村との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
長崎大学・富岡町復興推進拠点	福島県双葉郡富岡町（富岡町役場内）	福島県富岡町との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
長崎大学・大熊町復興推進拠点	福島県双葉郡大熊町（大熊町役場内）	福島県大熊町との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
長崎大学・双葉町復興推進拠点	福島県双葉郡双葉町（双葉町役場内）	福島県双葉町との包括連携に関する協定書に基づく連携事項の推進
平戸臨床教育プロジェクト拠点	長崎県平戸市（国民健康保険平戸市民病院内）	地域医療及び国際貢献を通じた国境を越えた地域医療支援事業の推進
外来医療教育室	長崎県長崎市（済生会長崎病院内、長崎記念病院内、光晴会病院内及び井上病院内） 長崎県佐世保市（石坂脳神経外科内） 長崎県南松浦郡新上五島町（長崎県上五島病院内） 長崎県島原市（長崎県島原病院内、柴田長庚堂病院内）	長崎県における医療人の育成及び定着の推進
長崎医療人育成室	長崎県長崎市（済生会長崎病院内、長崎記念病院内及び長崎みなとメディカルセンター内） 長崎県佐世保市（北松中央病院内）	地域中核病院の医療人材不足の解消及び人材育成事業の推進
救急・国際医療支援室	長崎県長崎市（長崎みなとメディカルセンター内）	長崎市内における安定した救急医療体制の整備及び医療人材の育成並びに安心できる医療環境の実現
「ながさきBLUEエコノミー」高島水産研究所	長崎県長崎市（長崎市水産センター高島事業所）	共創の場形成支援プログラム「ながさきBLUEエコノミー」海の食料生産を持続させる養殖産業産業化共創拠点に係る研究プロジェクトの展開

国際交流推進室

名 称	所 在 地	設 置 目 的
長崎大学在ライデン国際交流推進室	オランダ王国ライデン市（シーボルトハウス財団内）	オランダにおける長崎大学の教育・研究及び文化交流の推進
長崎大学ー山東大学交流推進室	中華人民共和国済南市（山東大学内）	山東大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学ー済州大学校交流推進室	大韓民国済州市（済州大学校内）	済州大学校との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学ー上海海洋大学交流推進室	中華人民共和国上海市（上海海洋大学内）	上海海洋大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学ー国立台湾海洋大学交流推進室	台湾基隆市（国立台湾海洋大学内）	国立台湾海洋大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学ーカントー大学交流推進室	ベトナム社会主義共和国カントー市（カントー大学内）	カントー大学との共同研究及び学生交流の推進
長崎大学ーフランス原子力防護評価研究所交流推進室	フランス共和国フォントネー＝オー＝ローズ市（フランス原子力防護評価研究所内）	フランス原子力防護評価研究所との共同研究の推進



特色ある教育・研究

特色ある教育

次世代研究者挑戦的研究プログラム

取組名称	取組部局	取組期間
プラネタリーヘルスを担う博士人材育成のための学際的教育システムの構築	総合生産科学研究科	令和6年度～

地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部機能強化事業

取組名称	取組部局	取組期間
離島・へき地地域の教員需要に対応する入試・養成・採用の一体型教員養成プログラムの開発	教育学部	令和6～10年度

特色ある研究

■ 長崎大学MIRAI-PH創出プログラム

採択年度	研 究 課 題 名	代 表 者 名 (部 局)
令和 6 年度～	塩ストレスによる高血圧発症メカニズムの解明	井上 剛 (医歯薬学総合研究科)
	誰もが健康であり続ける社会の実現を目指して～人間社会・細胞社会における若い力のプラネタリーヘルスへの貢献～	松下 祐樹 (医歯薬学総合研究科)
	海と森の知られざる価値の評価高度化：環境・経済・社会的コベネフィット分析	昔 宣希 (総合生産科学研究科)
令和 7 年度～	東アジアにおける環境ストレスと健康リスクの学際的研究	Madaniyazi Lina (熱帯医学・グローバルヘルス研究科)
	マダニ咬傷に起因する健康被害に対するOne Healthアプローチ	服部 充 (総合生産科学研究科)

■ 共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) 地域共創分野【本格型】

採択年度	プ ロ グ ラ ム 名
令和 5 年度～	「ながさきBLUEエコノミー」海の食料生産を持続させる養殖業産業化共創拠点

■ ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業

採択年度	プ ロ グ ラ ム 名
令和 4 ～令和 8 年度	ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点群 長崎シナジーキャンパス（出島特区）

■ 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

採択年度	プ ロ グ ラ ム 名
令和 6 年度～	プラネタリーヘルスの実現を目指し、世界を牽引する大学へ

■ 戦略的創造研究推進事業 CREST

採択年度	プ ロ グ ラ ム 名
令和 6 年度～	海藻養殖漁場におけるブルーカーボンの高精度定量化と固定能評価

■ 医学系研究支援プログラム【特色型】

採択年度	プ ロ グ ラ ム 名
令和 7 ～令和 9 年度	免疫ダイナミクス解析コホート・AIを駆使して難治性疾患に挑む Physician Scientist育成と研究力向上計画



学生数等

学 生 数

学 部

2026. 5. 1 (人)

学 部	学 科 ・ 課 程		入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	現 員						計
						1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次	
多文化 社会学部	多文化社会学科		100	—	400	105	117	102	130	—	—	454
教育学部	学校教育教員養成課程		180	—	720	180	180	180	199	—	—	739
経 済 学 部	総 合 経済学科	昼間コース	295	15	1,210	299	297	320	350	—	—	1,266
		夜間主コース	—		0	—	—	—	20	—	—	20
	計		295	15	1,210	299	297	320	370	—	—	1,286
医 学 部	医 学 科		114	5	723	113	130	121	136	118	135	753
	保 健 学 科		116	10	484	122	116	118	120	—	—	476
	計		230	15	1,207	235	246	239	256	118	135	1,229
歯学部	歯 学 科		50	—	300	50	52	51	52	55	43	303
薬学部	薬 学 科		40	—	240	44	42	46	42	37	51	262
	薬 科 学 科		40	—	160	46	40	46	55	—	—	187
	計		80	—	400	90	82	92	97	37	51	449
情報学部	情報データ科学科		120	—	480	124	122	121	162	—	—	529
工学部	工 学 科		330	—	1,320	332	360	319	410	—	—	1,421
環境科学部	環 境 科 学 科		130	5	530	132	128	139	159	—	—	558
水産学部	水 産 学 科		120	—	480	120	121	128	154	—	—	523
合 計			1,635	35	7,047	1,667	1,705	1,691	1,989	210	229	7,491

大 学 院

2026. 5. 1 (人)

研究科・学環	定員・現員		修士・博士前期課程					博士・博士後期課程						
	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計
多文化社会学研究科	10	20	10	13	—	23	3	9	3	3	11	—	—	17
経 済 学 研 究 科	15	30	11	23	—	34	3	9	3	3	11	—	—	17
総合生産科学研究科	315	630	339	331	—	670	60	180	49	42	21	—	—	112
工 学 研 究 科	—	0	—	4	—	4	—	10	—	—	16	3	3	22
水産・環境科学総合研究科	—	0	—	1	—	1	—	0	—	—	13	—	—	13
医歯薬学総合研究科	76	152	71	73	—	144	102	407	126	125	86	244	—	581
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	37	62	36	50	—	86	10	30	10	11	19	—	—	40
プラネタリーヘルス学環	—	—	—	—	—	—	5	15	5	6	4	—	—	15
計	453	894	467	495	—	962	183	660	196	190	181	247	3	817

研究科	定員・現員	専門職学位課程					
		入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
教 育 学 研 究 科		28	56	26	13	4	43
計		28	56	26	13	4	43

研究生・科目等履修生等（延べ人数）

2026. 5. 1 (人)

学部等	区分	研 究 生	科目等履修生	特別聴講学生	特別研究学生
多 文 化 社 会 学 部		2	1	16	
教 育 学 部				1	
経 済 学 部		3		5	
医 学 部		1	1	1	
歯 学 部			1	1	
薬 学 部					
情 報 デ ー タ 科 学 部		2		1	
工 学 部			2	3	
環 境 科 学 部				1	
水 産 学 部				4	
多文化社会学研究科		3			3
教育学研究科					
経済学研究科		1			
総合生産科学研究科		1			8
工学研究科					
水産・環境科学総合研究科					
医歯薬学総合研究科		8		1	6
熱帯医学・グローバルヘルス研究科		2			
プラネタリーヘルス学環					
グ ロ ー バ ル 機 構				52	
大学教育イノベーションセンター					
計		23	5	86	17

令和8年度入学者状況

学 部

2026.5.1 (人)

学 部	区 分	入 学 定 員	入学志願者	入 学 者
多文化社会学部		100	225 ※7	103 ※2
教育学部		180	397 ※1	180
経済学部		295	901 ※17	298 ※1
医学部		230	963 ※1	229
歯学部		50	132 ※1	50
薬学部		80	258 ※4	90
情報データ科学部		110 ※10	357 ※17	120 ※4
工学部		330	1,008 ※19	327 ※5
環境科学部		122 ※8	400 ※14	130 ※2
水産学部		120	333 ※5	120
計		1,617 ※18	4,974 ※86	1,647 ※14

※は外国人留学生で外数、編入学は除く

出身高校による入学者（外国人留学生を除く）の地域別区分

2026.5.1 (人)

学部	区 分	長 崎 県	九州地区 (長崎県を除く)	中国 四 国	近畿地区	中部地区	関東地区	東 北 北 海 道	外 国・ 大 検 等	計
多文化社会学部		28	53	8	4	6	1	1	2	103
教育学部		106	62	9	0	2	1	0	0	180
経済学部		105	164	11	10	2	3	3	0	298
医学部		92	88	15	11	7	12	4	0	229
歯学部		14	9	7	7	5	6	2	0	50
薬学部		19	37	18	4	5	3	4	0	90
情報データ科学部		54	50	4	2	4	3	0	3	120
工学部		93	195	19	8	5	3	2	2	327
環境科学部		45	61	9	5	3	4	3	0	130
水産学部		11	29	17	16	17	23	6	1	120
計		567	748	117	67	56	59	25	8	1,647

大 学 院

2026.5.1 (人)

研究科・学環	区 分	入 学 定 員	春季入学志願者	春 季 入 学 者 (令和8年4月)	(※参考) 秋季入学者 (令和7年10月)
多文化社会学研究科	博 士 前 期	10	1 ※22	2 ※8	—
	博 士 後 期	3	3 ※3	2 ※1	—
教育学研究科	専 門 職 学 位	28	31	26	—
経済学研究科	博 士 前 期	15	12 ※17	6 ※5	—
	博 士 後 期	3	6	1 ※2	—
総合生産科学研究科	博 士 前 期	315	387 ※23	315 ※19	0 ※5
	博 士 後 期	55	18 ※10	15 ※11	3 ※15
医歯薬学総合研究科	博士(5年一貫制)	5	3 ※2	3 ※2	—
	修 士	40	66 ※1	34 ※1	0 ※6
	博 士	95	73 ※28	68 ※23	7 ※23
	博 士 前 期	36	32 ※1	27 ※2	0 ※1
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	博 士 後 期	7	4	4	0 ※1
	博 士 前 期	37	—	—	19 ※17
ブラネタリーヘルス学環	博 士 後 期	10	—	—	9 ※1
	博 士 前 期	5	—	—	1 ※4
計		664	636 ※107	503 ※74	39 ※73

※は外国人留学生で外数

(春季入学志願者の※は外国人留学生入試の志願者数で外数)

令和7年度卒業生(修了者)及び進路状況

学部卒業生

(人)

学 部	令和7年度	累 計
多文化社会学部	114	788
教育学部	165	19,795
経済学部	昼間コース	281
	夜間主コース	67
医学部	222	9,775
歯学部	46	2,322
薬学部	69	5,197
情報データ科学部	112	295
工学部	305	18,610
環境科学部	133	3,499
水産学部	106	6,967
合 計	1,620	87,735

大学院修了者

2026.3.31 (人)

大 学 院	令和7年度	累 計
多文化社会学研究科	12	66
教育学研究科	24	996
経済学研究科	11	405
総合生産科学研究科	316	316
工学研究科	28	2,938
水産・環境科学総合研究科	17	807
医歯薬学総合研究科	161	3,366
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	38	320
ブラネタリーヘルス学環	5	5
医学研究科		1,294
歯学研究科		149
薬学研究科		924
工学研究科		1,758
環境科学研究科		46
水産学研究科		616
海洋生産科学研究科		245
生産科学研究科		2,881
国際健康開発研究科		72
合 計	612	17,204

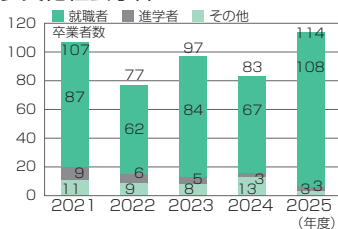
進路状況

2026.5.1 (人)

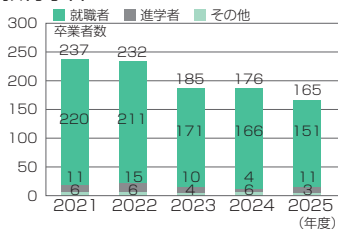
学部		多文化社会学部	教育学部	経済学部	医学部保健学科	薬学部	情報データ科学部	工学部	環境科学部	水産学部	
進路											
就 職	卒業生数	114	165	281	95	69	112	305	133	106	1380
	就職希望者数	110	151	271	67	37	47	89	112	46	930
	就職者数	108	151	265	67	34	47	84	108	45	909
	就職率	98.2%	100.0%	97.8%	100.0%	91.9%	100.0%	94.4%	96.4%	97.8%	97.7%
	農林漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	建設業	1	0	9	0	0	1	17	4	3	35
	製造業	27	4	23	0	2	3	28	7	7	101
	電気・ガス・熱供給・水道業	0	1	4	0	0	0	0	5	2	12
	情報通信、運輸業、郵便業	15	1	54	0	0	35	7	11	5	128
	卸売業・小売業	17	0	22	0	19	1	1	5	4	69
	金融業・保険業	2	2	48	0	0	2	0	10	3	67
	不動産業、物品賃貸業	2	1	17	0	0	1	1	2	1	25
	学術研究、専門・技術サービス	11	1	12	0	0	2	16	9	0	51
	宿泊業、飲食サービス業	5	0	3	0	0	0	1	0	0	9
	生活関連サービス業、娯楽業	2	0	1	0	0	0	0	0	1	4
職	教育、学習支援事業	3	117	3	0	0	1	0	2	4	130
	医療、福祉	0	13	1	67	11	0	1	1	0	94
	複合サービス事業	0	0	3	0	0	0	0	3	0	6
	サービス(他に分類されない)	2	3	17	0	0	1	0	7	0	30
	公務	15	8	48	0	2	0	12	42	13	140
	分類不能	6	0	0	0	0	0	0	0	1	7
	進学 者 数	3	11	3	26	32	60	214	19	58	426
そ の 他		3	3	13	2	3	5	7	6	3	45

過去5年間の進路状況の推移

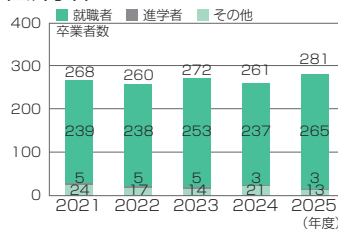
多文化社会学部



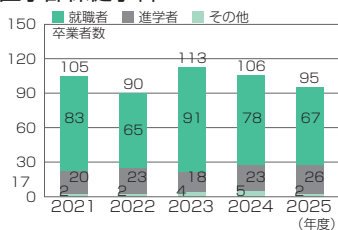
教育学部



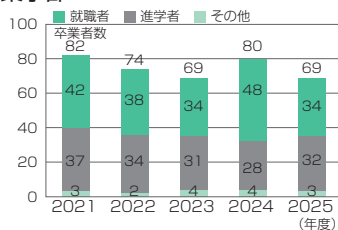
経済学部



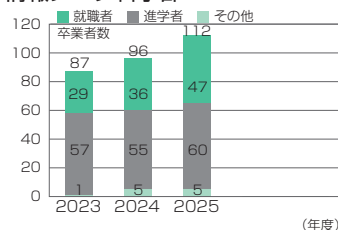
医学部保健学科



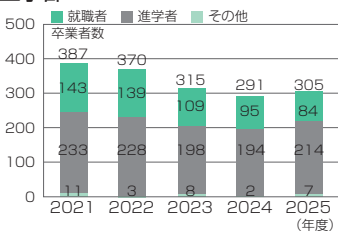
薬学部



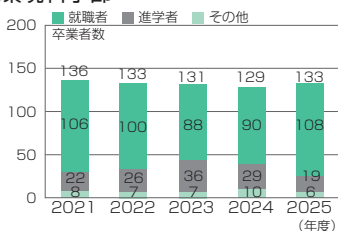
情報データ科学部



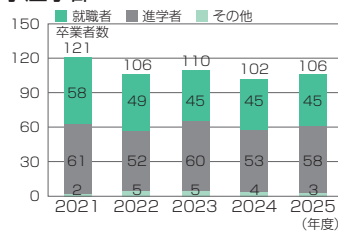
工学部



環境科学部



水産学部



学位授与数

2026.3.31 (人)

博士の種類	課 程 修 了		論 文		旧制授与数
	令和7年度	累 計	令和7年度	累 計	
学 術		226		32	
経 営 学		37			
医 学	70	2,656	1	1,850	1,347
歯 学	14	411		100	
薬 学	1	195		37	
薬 科 学	6	70			
臨 床 薬 学		13			
工 学	21	472	1	63	
水 産 学	4	109	2	25	
環 境 科 学	6	55	1	9	
海 洋 科 学		12		2	
グローバルヘルス	10	41			
公 衆 衛 生 学	5	5			
合 計	137	4,302	5	2,118	1,347

(人)

修士の種類	令和7年度	累 計
学 術	14	164
教 育 学		584
経 済 学	4	172
経 営 学	7	196
熱 帯 医 学	3	156
看 護 学	18	235
理 学 療 法 学	6	116
作 業 療 法 学	5	71
薬 学		1,096
薬 科 学	32	493
臨 床 薬 学		209
工 学	201	6,706
水 産 学	48	1,369
環 境 科 学	25	519
公 衆 衛 生 学	15	232
医 科 学	19	125
海 洋 科 学		1
情 報 デ ー タ 科 学	54	54
合 計	451	12,498

修士の種類	令和7年度	累 計
教 職 修 士 (専 門 職)	24	412



国際交流

令和 8 年度外国人留学生

部局別内訳

2026. 5. 1 (人)

区分 学部等	学部学生	大学院生	研究生等	計	区分 学部等	学部学生	大学院生	研究生等	計
多文化社会学部	5		19 (1)	24 (1)	多文化社会学研究科		26 (2)	6	32 (2)
教育学部	1		1	2	教育学研究科				
経済学部	12		8	20	経済学研究科		19	1	20
医学部			2	2	総合生産科学研究科		103(16)	7	110(16)
歯学部			1	1	工学研究科		11		11
薬学部					水産・環境科学総合研究科		9 (2)		9 (2)
情報データ科学部	28		3	31	医歯薬学総合研究科		141(19)	9	150(19)
工学部	17		3	20	熱帯医学・グローバルヘルス研究科		45(13)	2	47(13)
環境科学部	20		1	21	プラネタリーヘルス学環		12		12
水産学部	3		4	7	グローバル機構			60 (8)	60 (8)
					計	86	366(52)	127 (9)	579(61)

() は国費留学生を内数で示す。

国・地域別内訳

(人)

区分 国・地域名	学部学生	大学院生	研究生等	計	区分 国・地域名	学部学生	大学院生	研究生等	計
エジプト・アラブ共和国		5 (1)		5 (1)	ガーナ共和国		13 (2)	2 (2)	15 (4)
カ ナ ダ		1	1	2	ホンジュラス共和国		1 (1)		1 (1)
スリランカ民主社会主義共和国		2		2	インドネシア共和国	1	11 (4)		12 (4)
コンゴ民主共和国		6	1	7	カザフスタン共和国		15 (3)		15 (3)
ドイツ連邦共和国			2	2	ケニア共和国		13 (3)		13 (3)
ナイジェリア連邦共和国		9 (2)		9 (2)	大 韓 民 国	18	11	18	47
ブラジル連邦共和国		3 (2)		3 (2)	リベリア共和国		1		1
フランス共和国	1		1	2	マダガスカル共和国		1		1
ガボン共和国		6 (2)		6 (2)	モザンビーク共和国			1 (1)	1 (1)
ルクセンブルク大公国		1		1	セネガル共和国		2		2
バハマ・ニューギニア独立国			1 (1)	1 (1)	ガンビア共和国		1 (1)		1 (1)
イ ン ド		11 (3)	6 (1)	17 (4)	ペルー共和国			1 (1)	1 (1)
パキスタン・イスラム共和国		4 (3)	1	5 (3)	フィリピン共和国		3 (2)	1	4 (2)
イタリア共和国	1		3	4	ミャンマー連邦共和国		6 (2)		6 (2)
ベルギー王国			2	2	ジンバブエ共和国			1 (1)	1 (1)
ブータン王国		2		2	ル ー マ ニ ア		1 (1)	1	2 (1)
ノルウェー王国			2	2	ロ シ ア 連 邦			2	2
タ イ 王 国		8 (2)		8 (2)	ベトナム社会主義共和国		23 (3)	1	24 (3)
オランダ王国			13 (1)	13 (1)	ソロモン諸島		1		1
トンガ王国		1		1	イスラエル国		1 (1)		1 (1)
キルギス共和国		3 (1)		3 (1)	ス イ ス 連 邦		1		1
ラオス人民民主共和国		3 (1)		3 (1)	シリア・アラブ共和国		1		1
マレーシア	1	8 (6)	1	10 (6)	台 湾	1	4	12	17
ネ パ ー ル		5		5	スーダン共和国		4 (2)		4 (2)
バングラデシュ人民共和国		2		2	ウ ク ラ イ ナ		4	2	6
中華人民共和国	63	158	47	268	ミャンマー連邦共和国		1 (1)	1	2 (1)
ボリビア多民族国		1		1	メキシコ合衆国		3		3
ポルトガル共和国		1 (1)		1 (1)	タンザニア連合共和国		2 (2)	1 (1)	3 (3)
アルメニア共和国			1	1	無国籍・その他			1	1
ペラルーシ共和国		2		2	総 計	86	366(52)	127 (9)	579(61)

() は国費留学生を内数で示す。国名はアルファベット順。

海外の大学等との学術交流協定締結状況

2026. 5. 1

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
1	中 華 人 民 共 和 国	福建省疾病预防控制中心	医歯薬学総合研究科	2008
2		福州大学	総合生産科学研究科	1992
3		中国海洋大学	総合生産科学研究科	1997
4		中国薬科大学	医歯薬学総合研究科	1998
5		福建医科大学	医歯薬学総合研究科	2001
6		同済大学	総合生産科学研究科	2001
7		大連海洋大学	総合生産科学研究科	2003
8		香港浸會大学	多文化社会学部	2014
9		北京師範大学	教育学部	2004
10		上海財経大学	経済学部	2013
11		中南大学	医歯薬学総合研究科	2006
12		東北師範大学	教育学部	2007
13		上海海洋大学	総合生産科学研究科	2007
14		上海師範大学	教育学部	2007
15		華東師範大学	多文化社会学部	2007
16		集美大学	総合生産科学研究科	2007
17		天津科技大学	グローバル機構	2007
18		吉林大学	多文化社会学部	2008
19		江蘇省血吸虫病防治研究所	熱帯医学研究所	2010
20		中国医科大学	熱帯医学研究所	2010
21		山東大学	総合生産科学研究科	2010
22		山東科技大学	総合生産科学研究科	2010
23		浙江海洋大学	総合生産科学研究科	2011
24		西南財経大学金融学院	（経済学部）	2012
25		揚州大学	総合生産科学研究科	2014
26		香港教育大学人文学院及び博文及社会科学学院	（多文化社会学部）	2015
27		大連医科大学口腔病学部	（歯学部・医歯薬学総合研究科）	2016
28		南昌大学	医歯薬学総合研究科	2016
29		上海外国語大学	経済学部	2016
30		西北大学	多文化社会学部	2017
31		陝西師範大学	多文化社会学部	2017
32		華南理工大学	医歯薬学総合研究科	2018
33		天津師範大学	多文化社会学部	2018
34		北京外国語大学	多文化社会学部	2018
35		大連理工大学	総合生産科学研究科	2018
36		中国社会科学院大学	多文化社会学部	2019

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
37	中 華 人 民 共 和 国	広東外語外貿大学	経済学部	2019
38		上海理工大学	総合生産科学研究科	2020
39		蘇州科技大学	総合生産科学研究科	2020
40		新疆医科大学	（医学部・医歯薬学総合研究科）	2022
41		大連外国語大学	多文化社会学部	2024
42		五邑大学薬学・食品工程学院	（薬学部・医歯薬学総合研究科）	2024
43		東北財経大学	総合生産科学研究科	2025
44		陝西理工大学	多文化社会学部	2025
45		四川友誼国際医薬衛生交流センター	（医歯薬学総合研究科）	2025
46		黒龍江大学	多文化社会学部	2025
47		華中農業大学水産学院	（総合生産科学研究科）	2025
48	台 湾	国立陽明交通大学	医歯薬学総合研究科	2002
49		淡江大学	言語教育研究センター	2004
50		国立台湾海洋大学	総合生産科学研究科	2005
51		国立政治大学	多文化社会学部	2009
52		国立台湾大学	多文化社会学部	2010
53		国立台湾師範大学	多文化社会学部	2012
54		農業部水産試験所	総合生産科学研究科	2012
55		台北医学大学	医歯薬学総合研究科	2013
56		国立成功大学	多文化社会学部	2015
57		国立東華大学	経済学部	2016
58		国立高雄大学	グローバル機構	2016
59		台北榮民総医院	医歯薬学総合研究科	2017
60		亜洲大学	多文化社会学部	2017
61		国立高雄科技大学	総合生産科学研究科	2018
62		国立嘉義大学	総合生産科学研究科	2018
63		国立中興大学	グローバル機構	2019
64		三軍総医院	医歯薬学総合研究科	2019
65		中国文化大学	多文化社会学部	2019
66		国防医学大学	医歯薬学総合研究科	2020
67		義守大学	グローバル機構	2025
68	大 韓 民 国	済州大学校	総合生産科学研究科	1988
69		釜慶大学校	総合生産科学研究科	1988
70		江原大学校	総合生産科学研究科	2002
71		昌原大学校	教育学部	2002
72		全南大学校	総合生産科学研究科	2002
73		仁荷大学校	グローバル機構	2003
74		漢陽大学校	教育学部	2003

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
75	大韓民国	韓国海洋科学技術院	総合生産科学研究科	2004
76		慶北大学校	教育学部	2004
77		成均館大学校	総合生産科学研究科	2006
78		慶熙大学校	グローバル機構	2006
79		ハーリム大学校	医歯薬学総合研究科	2007
80		ソウル大学校	歯学部	2007
81		国立釜山大学校	医歯薬学総合研究科	2007
82		韓国国立水産科学院	総合生産科学研究科	2010
83		全北大学校	総合生産科学研究科	2010
84		中央大学校	経済学部	2012
85		韓信大学校	核兵器廃絶研究センター	2013
86		慶尚大学校	医学部	2013
87		釜山カトリック大学校	医歯薬学総合研究科	2014
88		東国大学校	多文化社会学部	2014
89		亞洲大学校	グローバル機構	2014
90		韓国原子力医科学院	医歯薬学総合研究科	2017
91		全州教育大学校	（教育学部）	2024
92		韓国カトリック大学校医学部	（医歯薬学総合研究科）	2025
93	モンゴル国	モンゴル国立医療科学大学	医歯薬学総合研究科	2008
94	タイ王国	チェンマイ大学	医歯薬学総合研究科	1990
95		マヒドン大学	熱帯医学研究所	1999
96		タマサート大学	医歯薬学総合研究科	2006
97		チュラロンコン大学	医歯薬学総合研究科	2009
98		泰日工業大学	総合生産科学研究科	2018
99		シーナカリンウィロート大学	医歯薬学総合研究科	2025
100	インドネシア共和国	ワライラック大学国際歯学部	（歯学部）	2026
101		アイルランガ大学	熱帯医学研究所	2004
102		ブラウィジャヤ大学	総合生産科学研究科	2008
103		インドネシア大学	総合生産科学研究科	2015
104		東アジア・アセアン経済研究センター	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2019
105		ハサヌディン大学	総合生産科学研究科	2023
106	シンガポール共和国	バンドン工科大学産業工学部	（総合生産科学研究科）	2025
107		シンガポール国立大学医学部	（医学部、医歯薬学総合研究科）	2020
108		南洋理工科大学工学院	（総合生産科学研究科）	2023
109	マレーシア	マレーシア科学大学	総合生産科学研究科	1995
110		テイラーズ大学	多文化社会学部	2015
111		マレーシア・サバ大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2017
112		マレーシアトレンガヌ大学	総合生産科学研究科	2017

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
113	マレーシア	マラヤ大学	医歯薬学総合研究科	2019
114	ブルネイ・ダルサラーム国	ブルネイ・ダルサラーム大学	多文化社会学部	2015
115	フィリピン共和国	フィリピン大学ディリマン校	多文化社会学部	2001
116		セントルークス医療センター	熱帯医学研究所	2004
117		サンラザロ病院	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2004
118		イースト大学	医歯薬学総合研究科	2005
119		フィリピン大学ピサヤ校	総合生産科学研究科	2010
120		フィリピン大学マニラ校	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2014
121		アテネオ・デ・マニラ大学	多文化社会学部	2015
122		フィリピン大学ロスバニョス校	経済学部	2017
123	ベトナム社会主義共和国	国立衛生疫学研究所	熱帯医学研究所	2001
124		カントー大学	総合生産科学研究科	2012
125		ハノイ土木大学	総合生産科学研究科	2020
126		ベトナム国家大学ホーチミン市校自然科学大学環境学部	（総合生産科学研究科）	2022
127		ニャチャン・パスツール研究所	熱帯医学研究所	2025
128		ベトナム国家大学ハノイ校科学大学	総合生産科学研究科	2025
129		ホーチミン・パスツール研究所	熱帯医学研究所	2025
130	ミャンマー連邦共和国	ミャンマー国保健省医育管理局・医学研究局	医歯薬学総合研究科	2007
131		ヤンゴン工科大学	総合生産科学研究科	2015
132	カンボジア王国	クラチエ大学	総合生産科学研究科	2019
133		リプロダクティブ・チャイルドヘルスアライアンス、カンボジア	（熱帯医学・グローバルヘルス研究科）	2025
134	バングラデシュ人民共和国	BRAC大学	（熱帯医学・グローバルヘルス研究科）	2008
135		ノース・サウス大学健康生命科学部	（医歯薬学総合研究科）	2021
136	インド	インド情報・設計・生産技術大学カンチープラム校	（総合生産科学研究科）	2018
137		インドラプラズサ情報工科大学デリー校	（総合生産科学研究科）	2022
138		バーラ技術科学大学ピラニ校	（総合生産科学研究科）	2022
139		ベロール工科大学	総合生産科学研究科	2022
140		シヴ・ナダル大学	グローバル機構	2025
141	ラオス人民共和国	ラオス熱帯公衆衛生研究所	（熱帯医学・グローバルヘルス研究科）	2022
142		ラオス国立大学工学部	（総合生産科学研究科）	2024
143	オーストラリア連邦	エディスコーワン大学	多文化社会学部	2012
144		サンシャインコースト大学	多文化社会学部	2014
145		サザンクロス大学	多文化社会学部	2014
146		ウエスタンシドニー大学	多文化社会学部	2015
147		ディーキン大学	総合生産科学研究科	2015
148		カーティン大学	総合生産科学研究科、言語教育研究センター	2025
149	アメリカ合衆国	ミネソタ州立大学マンケイト校	言語教育研究センター	2011
150		モンタナ大学健康保健学部	（医学部）	2013

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
151	アメリ合衆国	カリフォルニア州立大学モントレーベイ校	多文化社会学部	2014
152		ノーザン州立大学	多文化社会学部	2014
153		アーカンソー工科大学	多文化社会学部	2014
154		ノースイースタン・イリノイ大学芸術科学部	（多文化社会学部）	2015
155		フロストバーグ州立大学	多文化社会学部	2015
156		ノースカロライナ州立大学	医歯薬学総合研究科	2016
157		モラヴィアン・カレッジ	多文化社会学部	2018
158		カリフォルニア大学バークレイ校	総合生産科学研究科	2018
159		カリフォルニア大学ロサンゼルス校	医歯薬学総合研究科	2018
160		ニューメキシコ大学	薬学部	2020
161		パデュー大学教育学部	（教育学部）	2023
162		デンバー大学	総合生産科学研究科	2024
163		ハムリン大学グローバルエンゲージメントセンター	（総合生産科学研究科）	2024
164		テキサス大学エルパソ校	（医学部）	2024
165	カナダ	ニューファンドランドメモリアル大学	多文化社会学部	2014
166		ウィニベグ大学	多文化社会学部	2014
167		カルガリー大学	多文化社会学部	2015
168		レスブリッジ大学	多文化社会学部	2015
169	ブラジル連邦共和国	ベルナンブコ連邦大学	高度感染症研究センター	2024
170		リオ・グランデ・ド・ノルテ連邦大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2023
171	ペルー共和国	サン・マルティン・デ・ポレス大学	医歯薬学総合研究科	2016
172	ボリビア多民族国	ガブリエル・レネ・モレノ自治大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2023
173	イタリア共和国	ナポリ大学フェデリコⅡ	総合生産科学研究科	1998
174		トレント大学	医歯薬学総合研究科	2014
175		カ・フォスカリ大学	経済学部	2014
176		ルイジ・ヴァンヴィテッリ・カンパニア州大学	医歯薬学総合研究科	2016
177	英（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）	マルケ工科大学	総合生産科学研究科	2020
178		ロンドン大学衛生熱帯医学大学院	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2013
179		ヘリオットワット大学	総合生産科学研究科	2014
180		エディンバラ大学	総合生産科学研究科	2014
181		オックスフォード・ブルックス大学	多文化社会学部	2015
182		アバディーン大学	多文化社会学部	2015
183		キール大学	多文化社会学部	2015
184		スターリング大学	海洋未来イノベーション機構	2016
185		ポーツマス大学	経済学部	2017
186		スコットランド海洋科学技術連合	海洋未来イノベーション機構	2018
187	ドイツ連邦共和国	BASIC (British American Security Information Council)	核兵器廃絶研究センター	2025
188		ヴュルツブルク大学	医歯薬学総合研究科	2006

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
189	ドイツ連邦共和国	ヨハネス・グーテンベルク・マインツ大学	医歯薬学総合研究科	2010
190		ライブニッツ予防研究・疫学研究所	原爆後障害医療研究所	2014
191		ゲオルク・ジモン・オーム大学ニュルンベルク	多文化社会学部	2015
192		ハインリッヒ・ハイネ大学	医歯薬学総合研究科	2017
193		ドルトムント工科大学化学・化学生物学部	（総合生産科学研究科）	2018
194	オランダ王国	フィリップ大学マールブルク	総合生産科学研究科	2019
195		ライデン大学	医歯薬学総合研究科、多文化社会学部	1998
196		ラドバウト大学社会科学部	（多文化社会学部）	2016
197	ベルギー王国	アントワープ熱帯医学研究所	（熱帯医学・グローバルヘルス研究科、プラネタリーヘルス学環）	2013
198		ゲント大学人文学部及び生物工学部	グローバル機構	2015
199		モンス大学	多文化社会学部	2015
200		ルーヴェン・カトリック大学文学部	（多文化社会学部）	2016
201	フランス共和国	オートアルザス大学ミュールーズ国立高等化学院	（医歯薬学総合研究科）	2005
202		ヨーロッパ・ビジネス・スクール パリ校	経済学部	2013
203		アンジェ大学	医歯薬学総合研究科	2013
204		パリ東＝クレティユ大学	多文化社会学部	2015
205		フランス原子力防護評価研究所	医歯薬学総合研究科	2016
206		原子力安全・放射線防護機関	医歯薬学総合研究科	2018
207		ブルゴーニュ大学ヨーロッパ	経済学部	2018
208	スペイン王国	マラガ大学	多文化社会学部	2015
209		セビリア大学	多文化社会学部	2019
210		バルセロナ国際保健財団研究所	（熱帯医学研究所）	2020
211		スペイン国立研究協議会	（熱帯医学・グローバルヘルス研究科）	2021
212	ポルトガル共和国	ポルト大学	経済学部	2010
213		新リスボン大学	多文化社会学部	2018
214	スイス連邦	ベルン大学医学部デジタル医療科	（医歯薬学総合研究科）	2026
215	スウェーデン王国	ルンド大学工学部	（総合生産科学研究科）	2015
216		ストックホルム国際平和研究所	核兵器廃絶研究センター	2024
217	ノルウェー王国	ノルウェー科学技術大学	総合生産科学研究科	2006
218	ポーランド	ワルシャワ経済大学	（経済学部）	2016
219	ルーマニア	ブカレスト工科大学	総合生産科学研究科	2016
220		ブカレスト経済大学	経済学部	2024
221	オーストリア	グラーツ医科大学	医学部	2025
222	カザフスタン共和国	セメイ医科大学	医歯薬学総合研究科	1998
223		アスフェンディヤーロフ・カザフ国立医科大学	医歯薬学総合研究科	2009
224		シズガノフ国立外科科学センター	医歯薬学総合研究科	2012
225		ナザルバーエフ大学	医歯薬学総合研究科	2017
226		セメイ市核医療・腫瘍センター	原爆後障害医療研究所	2018

※（ ）は部局間協定

	相手国等	相手機関	長崎大学の主管（締結）部局※	締結年
227	ウクライナ	国立ウクライナ医学アカデミー-V.P. コミサレンコ内分泌代謝研究所	原爆後障害医療研究所	2003
228		国立ウクライナ医学アカデミー放射線医学研究センター	原爆後障害医療研究所	2003
229		ウクライナ放射線防護研究所	原爆後障害医療研究所	2012
230		コロステン中央市立病院	医歯薬学総合研究科	2017
231	キルギス共和国	キルギス国立医学アカデミー	医歯薬学総合研究科	2022
232	ケニア共和国	ケニヤッタ大学	医歯薬学総合研究科	2004
233		ケニア中央医学研究所	熱帯医学研究所	2004
234		モイ大学	総合生産科学研究科	2012
235		マセノ大学	熱帯医学研究所	2013
236		ジョモケニヤッタ農工大学	医歯薬学総合研究科	2021
237		ケニヤッタ国立病院	医学部	2022
238		UNFPAケニア事務所	（熱帯医学・グローバルヘルス研究科）	2026
239	タンザニア連合共和国	ムヒンビリ健康科学大学	医歯薬学総合研究科	2011
240	コンゴ民主共和国	キンシャサ大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2016
241		国立生物医学研究所	熱帯医学研究所	2024
242	ナイジェリア連邦共和国	ナイジェリア大学医学部	（熱帯医学研究所）	2016
243		アフマド・ベロ大学	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2019
244	エジプト・アラブ共和国	エジプト日本科学技術大学	熱帯医学研究所	2016
245	セーシェル共和国	セーシェル大学	グローバル機構	2016
246	スーダン共和国	ハルツーム大学	熱帯医学研究所	2022
247	セネガル共和国	ガストン・ベルジェ大学健康科学部	（熱帯医学研究所）	2025
248	ウガンダ	フードフォーザハングリーアソシエーション, ウガンダ事務所	（熱帯医学・グローバルヘルス研究科）	2024
249	エチオピア	UNFPAエチオピア事務所	（熱帯医学・グローバルヘルス研究科）	2024
250	アラブ首長国連邦	アラブ首長国連邦大学医学健康科学部	（医学部・医歯薬学総合研究科）	2015
251	トルコ共和国	マルマラ大学	医歯薬学総合研究科	2021
252		マニサジェラルバヤル大学	経済学部	2023
253	イラク共和国	スレイマニ工科大学	多文化社会学部	2021
254	その他	国連開発計画	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	2017
255		国際ワクチン研究所	感染症研究出島特区	2024
256		国連軍縮研究所	核兵器廃絶研究センター	2024
257		国連大学	グローバルリスク研究センター	2025

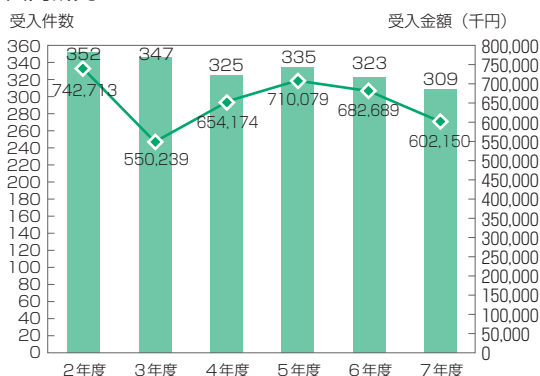
※（ ）は部局間協定



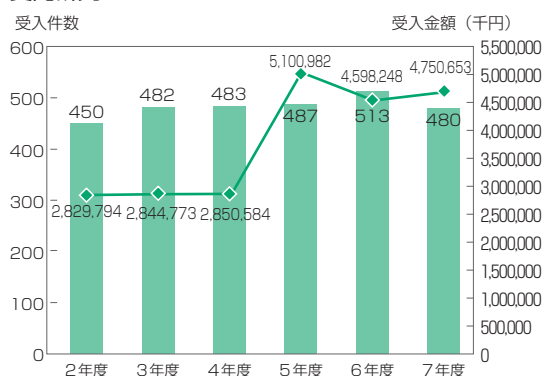
社会貢献

産学連携

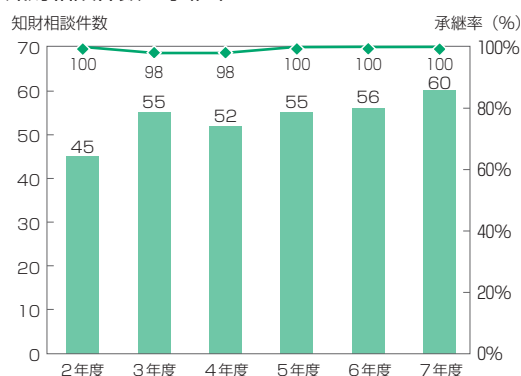
共同研究



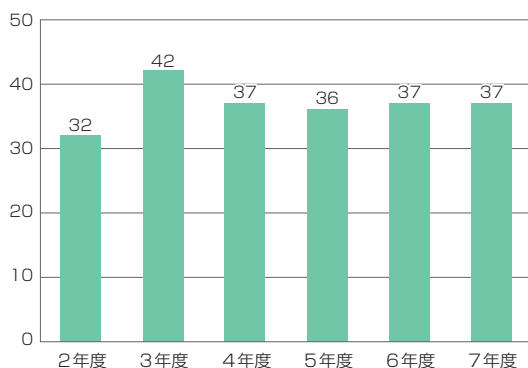
受託研究



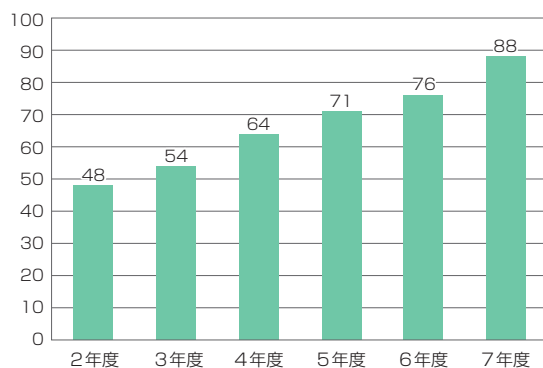
知財相談件数・承継率



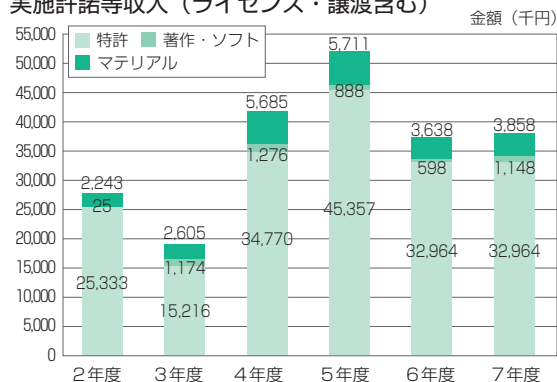
特許出願件数(国内)



実施許諾権利数



実施許諾等収入 (ライセンス・譲渡含む)

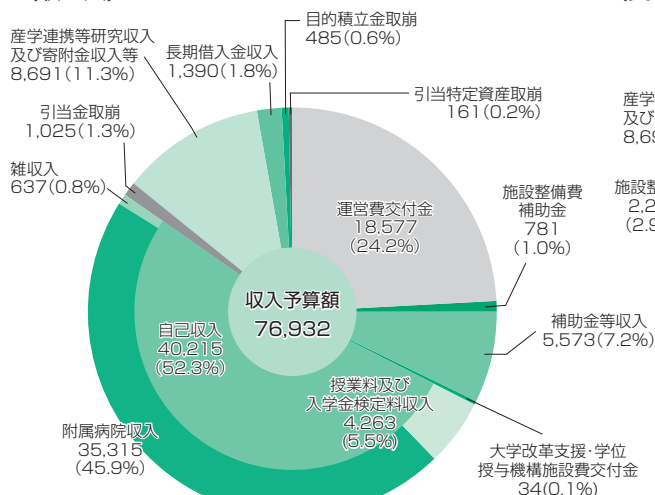




財 政

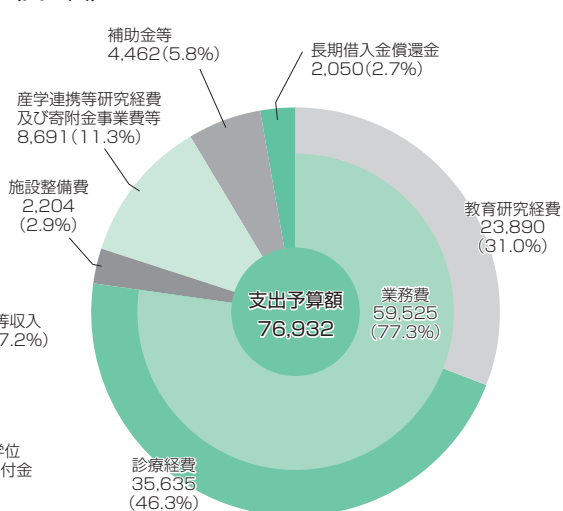
令和 8 年度予算額

(収 入)



(単位:百万円)

(支 出)



(単位:百万円)

外部資金等

■ 科学研究費助成事業

令和 7 年度

研究種目	内定件数	予算額 (千円)
新学術領域研究	0	0
学術変革領域研究 (A)	7	33,200
学術変革領域研究 (B)	0	0
基盤研究 (S)	0	0
基盤研究 (A)	10	76,800
基盤研究 (B)	75	286,000
基盤研究 (C)	324	356,000
挑戦的研究 (開拓)	4	18,900
挑戦的研究 (萌芽)	18	33,100
若手研究	147	175,900
国際共同研究加速基金 (国際先導研究)	0	0
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化)	1	10,300
国際共同研究加速基金 (海外連携研究)	9	30,000
特別研究促進費	0	0
研究成果公開促進費	1	1,500
研究活動スタート支援	31	31,800
特別研究員奨励費	15	11,400
合 計	642	1,064,900

配分予算額は直接経費のみを示している。

■ 寄附金

令和 7 年度

件 数	金 額 (千円)
7,818	1,371,607

■ 受託研究経費

令和 7 年度

件 数	金 額 (千円)
480	4,750,653

■ 民間等との共同研究

令和 7 年度

件 数	金 額 (千円)
309	602,150



キャンパス

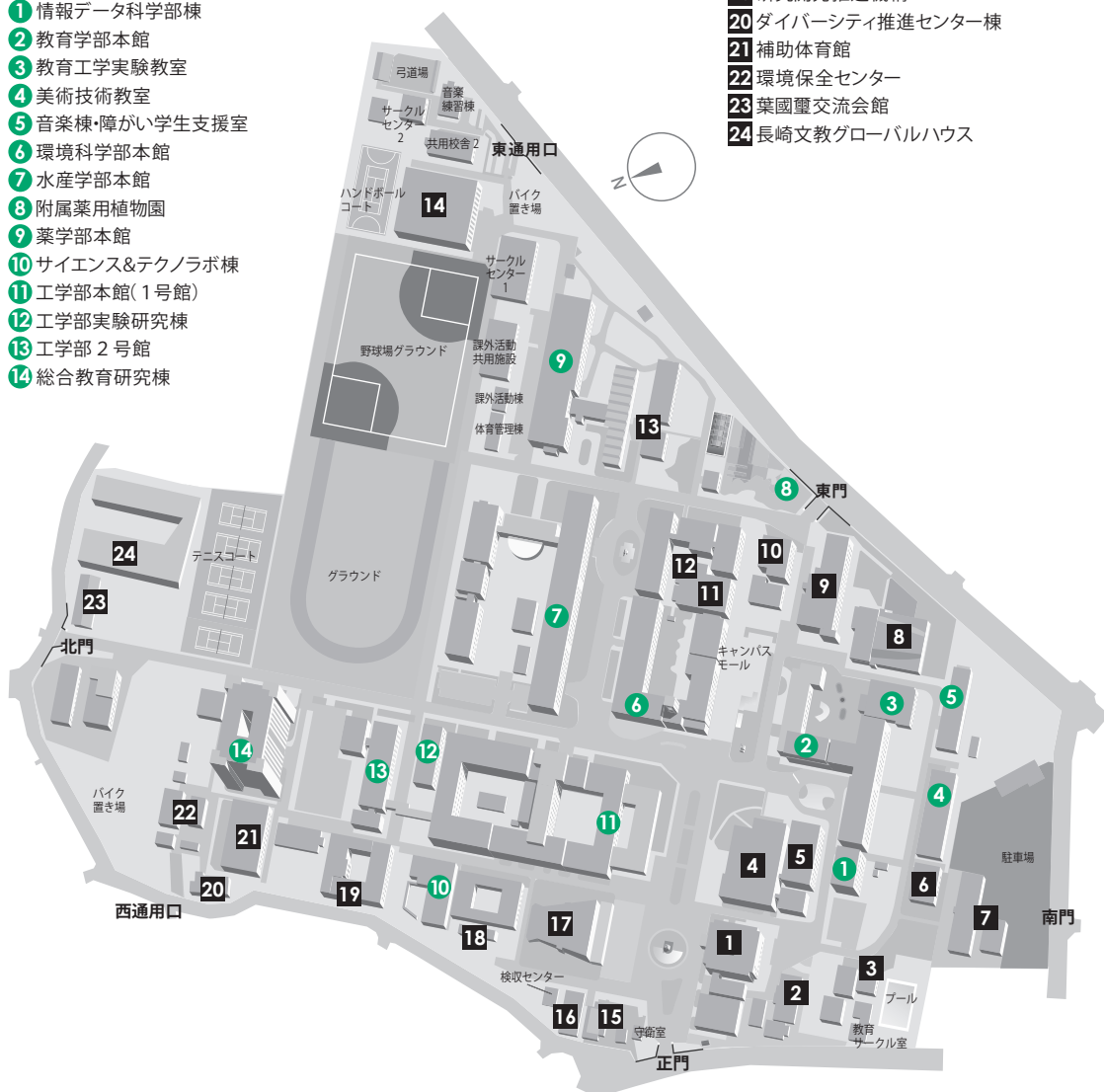
文教キャンパス

多文化社会学部
教育学部
薬学部
情報データ科学部
工学部
環境科学部
水産学部

- 1 事務局
- 2 保健センター
- 3 核兵器廃絶研究センター(RECNA)
- 4 附属図書館(中央図書館)
- 5 放送大学長崎学習センター
- 6 教育実践総合研究棟
- 7 ICT基盤センター
- 8 生協食堂
- 9 学生会館(生協文教店)

- 10 学生プラザ
- 11 グローバル教育・学生支援棟
- 12 文教スカイホール
- 13 柏葉会館
- 14 総合体育館
- 15 総合教育研究施設A
- 16 文教おもやい保育園
- 17 中部講堂
- 18 CROSS Nagasaki
- 19 研究開発推進機構
- 20 ダイバーシティ推進センター棟
- 21 補助体育館
- 22 環境保全センター
- 23 葉國璽交流会館
- 24 長崎文教グローバルハウス

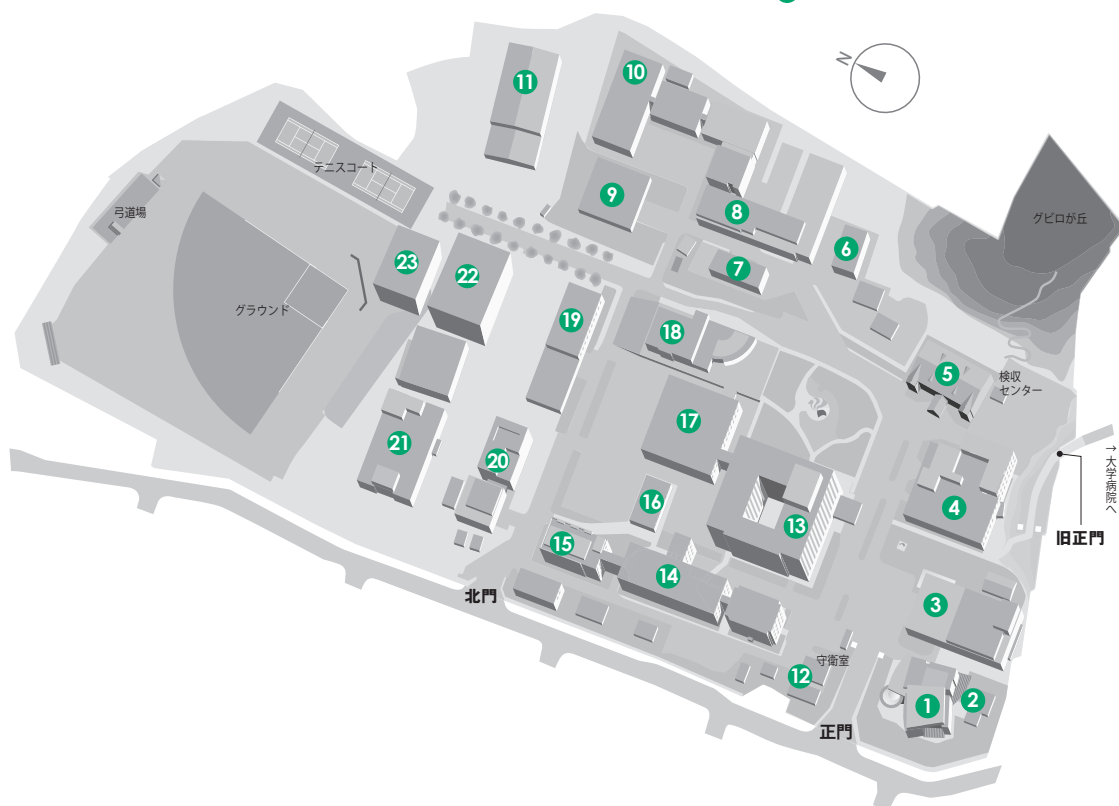
- 1 情報データ科学部棟
- 2 教育学部本館
- 3 教育工学実験教室
- 4 美術技術教室
- 5 音楽棟・障がい学生支援室
- 6 環境科学部本館
- 7 水産学部本館
- 8 附属薬用植物園
- 9 薬学部本館
- 10 サイエンス&テクノラボ棟
- 11 工学部本館(1号館)
- 12 工学部実験研究棟
- 13 工学部2号館
- 14 総合教育研究棟



坂本キャンパス ①

医学部（医学科）
熱帯医学研究所
原爆後障害医療研究所
熱帯医学・グローバルヘルス研究科
高度感染症研究センター
パンデミック総合研究センター

- ① 良順会館
- ② ゲストハウス
- ③ 記念講堂
- ④ 附属図書館医学分館
- ⑤ ポンペ会館
- ⑥ グビローニングセンター
- ⑦ 統合感染症研究棟
- ⑧ 熱帯医学研究所
- ⑨ 医学ミュージアム
- ⑩ グローバルヘルス総合研究棟
- ⑪ 体育館
- ⑫ レジデンス精得館
- ⑬ 医学部基礎研究棟
- ⑭ 原爆後障害医療研究所
- ⑮ 先端ゲノム研究センター
- ⑯ ヒューマンカウンター
- ⑰ 第1講義実習棟
- ⑱ 福利厚生棟(生協売店・食堂)
- ⑲ 第2講義実習棟
- ⑳ 放射線総合センター
- ㉑ バイオメディカルモデル動物研究センター
- ㉒ 高度感染症研究センター実験棟
- ㉓ 高度感染症研究センター本館



坂本キャンパス ②

医学部（保健学科）
歯学部
薬学部
大学病院

- ① 福利厚生施設(生協売店・食堂)
- ② 医歯薬学総合教育研究棟
- ③ 医歯薬学先端融合教育研究棟
- ④ MR(磁気共鳴)検査棟
- ⑤ 歯学部教育研究棟
- ⑥ 特殊災害・新興感染症トリアージユニット棟
- ⑦ 第2病棟・診療棟
- ⑧ 高エネルギー治療棟
- ⑨ 被ばく医療総合研修センター
- ⑩ 管理棟
- ⑪ 中央診療棟
- ⑫ 病棟・診療棟
- ⑬ 病院本館
- ⑭ 臨床講義棟
- ⑮ 国交医分館・医病倉庫
- ⑯ 医学部第2体育館
- ⑰ 医学部保健学科校舎

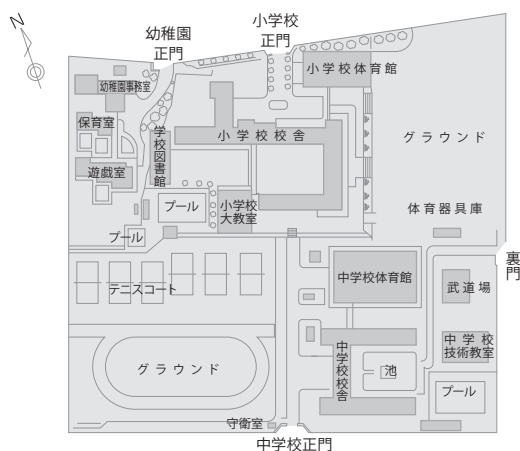


片淵キャンパス

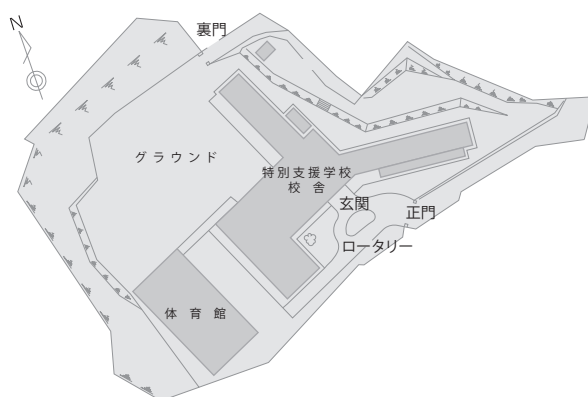
経済学部



附属学校（幼稚園・小学校・中学校）



附属特別支援学校



※長崎大学テクノロジーイノベーションキャンパス (NUTIC) は、長崎スタジアムシティオフィス棟の4階にあります。

厚生補導施設等

体育施設

施設名 地区名	体 育 館	弓 道 場	柔 道 場	剣 道 場	武 道 場	テ ニ ス コ ー ト	グ ラ ウ ン ド	プ ー ル	ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト	備 考
文 教 地 区	2	1	1	1		5	1	1	1	・柔道場、剣道場及び武道場は各地区 の体育館内
片 淵 地 区	1					4	1			
坂 本 地 区	2	1			1	2	1			
計	5	2	1	1	1	11	3	1	1	

その他主たる施設

名 称	部 局	場 所	主 な 施 設	主 な 事 業	事 業 体
臨 海 研 修 所	学生支援部	西彼杵郡時津町子々川郷	宿 泊 施 設 食 堂 ボ ー ト	学生の課外活動 教 職 員 研 修 会 レクリエーション	長 崎 大 学
課 外 活 動 共 用 施 設	//	文教町1-14 長崎大学文教地区構内	共用室・研修室 ミーティングルーム	学生の課外活動	長 崎 大 学
学 生 会 館	//	//	キャリアセンター 集 会 室 和 室・茶 室 多 目 的 室 食 堂・喫 茶 売 店	就職、キャリア形成、ボランティアの相談 学生の課外活動 食 品 販 売 食 堂・喫 茶 書 籍・日用品販売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合 業 者
学 生 プ ラ ザ	//	//	多目的ホール1 多目的ホール2	学生の課外活動	長 崎 大 学
グローバル教育・ 学 生 支 援 棟	//	//	文教スカイホール	講 義、講 演 会 学生の課外活動	長 崎 大 学
課 外 活 動 等 共 用 施 設	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談 話 室 共 用 室 共 有 会 議 室 音 楽 練 習 室 制 作 室・暗 室 研 修 室	学生の課外活動	長 崎 大 学
坂本1団地地区 課外活動共用施設	医 学 部 医 学 科	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	共 用 室 音 楽 練 習 室 室 外 器 具 庫	学生の課外活動	長 崎 大 学
坂本2団地地区 課外活動共用施設	医 学 部 保 健 学 科	坂本1丁目7-1 長崎大学医学部保健学科構内	器 具 庫	学生の課外活動	長 崎 大 学

名 称	部 局	場 所	主 な 施 設	主 な 事 業	事 業 体
扶 揺 会 館	経済学部	片淵4丁目2-1 長崎大学経済学部構内	談 話 室 食 堂 ・ 売 店	食堂・書籍・日用品販売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
福利厚生施設	医 学 部 医 学 科	坂本1丁目12-4 長崎大学医学部構内	談 話 室 食 堂 ・ 売 店	食 堂 書籍・食品・日用品販売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
//	歯 学 部	坂本1丁目7-1 長崎大学歯学部構内 (2店舗)	学 生 自 習 室 ・ セミナー室・和室 食 堂 ・ 売 店	学生 の 課 外 活 動 食 堂 書籍・食品・日用品販売	長 崎 大 学 長崎大学生協同組合
//	医 学 部 保健学科	坂本1丁目7-1 長崎大学医学部保健 学科構内 (2店舗)	食 売 店	食 日 用 品 販 売	長崎大学生協同組合

土地・建物・船舶

土地・建物

施 設 等	所 在 地	土 地 (㎡)		建 物 (㎡)	
		大 学	借 用	大 学	借 用
文 教 キ ャ ン パ ス	長崎市文教町1-14	187,125		43,226 129,519	
教 職 員 施 設 (観月荘)	長崎市上西山町11-1, 11-13	903		228 399	
臨 海 研 修 所	西彼杵郡時津町子々川郷	1,451	229	371 616	
教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校	長崎市文教町4-23	51,185		8,988 16,160	
教育学部附属特別支援学校	長崎市柳谷町42-1	12,529		2,443 3,518	
片 淵 キ ャ ン パ ス	長崎市片淵4丁目2-1	51,720		6,842 16,426	
坂 本 キ ャ ン パ ス 1	長崎市坂本1丁目12-4	92,176		21,654 69,822	
医 学 部 納 骨 堂	長崎市銭座町4-59		48	13 13	
坂 本 キ ャ ン パ ス 2	長崎市坂本1丁目7-1	86,807		32,687 171,337	
N U T I C	長崎市幸町7-1長崎スタジアムシティノース棟4階				1,801 1,801
野 母 崎 研 究 施 設	長崎市野母町1321	15,899		448 448	
海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター	長崎市多良町1551-7	10,900		1,688 2,648	
職 員 宿 舎		22,434		2,600 11,335	1,106 3,304

施 設 等	所 在 地	土 地 (㎡)		建 物 (㎡)	
		大 学	借 用	大 学	借 用
国 際 交 流 会 館	長崎市西町12-1	3,044		<u>635</u> 1,837	<u>499</u> 1,300
職 員 宿 舎		3,008			<u>910</u> 2,414
国 際 学 寮 ホ ル テ ン シ ア	長崎市白鳥町8-77, 8-78		3,142		<u>722</u> 2,166
旧九州地区国立大学島原共同研修センター	島原市礪石原町甲1201	120,286		<u>1,793</u> 2,329	
高 島 水 産 研 究 所	長崎市高島町1156番地地先		15,192		<u>5,348</u> 5,472
計		659,467	18,611	<u>123,616</u> 426,407	<u>10,386</u> 16,457
合 計		678,078		<u>134,002</u> 442,864	

船舶

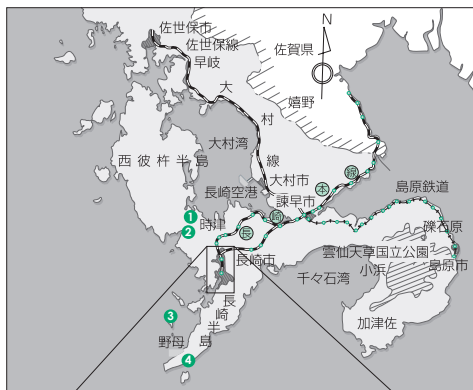
所 属	船 名	構 成	総トン数	出 力	備 考
水 産 学 部	長 崎 丸	鋼 船	1,507.00	1,000kw×2	教員, その他の船員30名, 学生収容人員40名
	鶴 洋 丸	アルミニウム合金船	249.00	1,050kw×2	教員, その他の船員, 学生, 総収容人員18名
学 生 支 援 部	琴 風	F R P	1.7	90	救助艇, 乗船定員10名

部局等所在地一覧

部 局 の 名 称	電 話 番 号	所 在 地
・計 画 ・ 評 価 本 部	095-819-2020	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・広 報 戦 略 本 部	095-819-2007	//
	095-819-2156 (FAX番号)	
・原子力災害対策戦略本部	095-819-8536	〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1
・インスティテューショナル・リサーチ推進本部	095-800-4112	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・ダイバーシティ推進センター	095-819-2889	//
・ディベロップメントオフィス	095-819-2155	//
・校 友 会	095-819-2155	//
・バイオセーフティ管理監室	095-819-2042	//
・監 査 室	095-819-2182	//
・事 務 局	095-819-2072 (教育支援課)	//
	095-819-2103 (学生支援課)	//
	095-819-2111 (入試課)	//
	095-819-2878 (研究推進課)	//
	095-819-2039 (学術支援課)	//
	095-819-7008 (感染症研究支援企画課)	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
	095-819-7732 (感染症研究支援管理課)	//
	095-819-7583 (感染症研究支援学務課)	//
	095-819-2043 (国際企画課)	〒852-8521 長崎市文教町1-14
	095-819-2123 (留学支援課)	//
	095-819-2016 (総務課)	//
	095-819-2014 (政策企画課)	//
	095-819-2032 (人事課)	//
	095-819-2155 (渉外課)	//
	095-819-2050 (財務企画課)	//
	095-819-2161 (経理調達課)	//
	095-819-2131 (施設企画課)	//
	095-819-2137 (施設整備課)	//
	095-819-2141 (施設管理課)	//
	095-819-2022 (情報企画課)	//
	095-819-2193 (学術情報管理課)	//
・多 文 化 社 会 学 部	095-819-2934	//
・教 育 学 部	095-819-2263	//
・附 属 幼 稚 園	095-819-2288	〒852-8131 長崎市文教町4-23
・附 属 小 学 校	095-819-2272	//
・附 属 中 学 校	095-819-2278	//
・附 属 特 別 支 援 学 校	095-845-5646	〒852-8046 長崎市柳谷町42-1
・経 済 学 部	095-820-6300	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・医 学 部	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
・医 保 健 学 部	095-819-7904	〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1
・歯 学 部	095-819-7605	〒852-8588 //
・薬 学 部	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・情 報 デ ー タ 科 学 部	095-800-4101	//
・(N U T I C)	095-800-4101	〒850-0046 長崎市幸町7-1長崎スタジアムシティノース棟4階
・工 学 部	095-800-4101	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・環 境 科 学 部	095-819-2713	//
・水 産 学 部	095-819-2793	//
・水産学部附属練習船長崎丸	090-3023-5210	〒851-2213 長崎市多以良町
・水産学部附属練習船鶴洋丸	090-3022-2044	//
・多 文 化 社 会 学 研 究 科	095-819-2975	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・教 育 学 研 究 科	095-819-2266	//
・経 済 学 研 究 科	095-820-6300	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・総 合 生 産 科 学 研 究 科	095-800-4101	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・工 学 研 究 科	095-800-4101	//

部 局 の 名 称	電 話 番 号	所 在 地
・水産・環境科学総合研究科		〒852-8521 長崎市文教町1-14
水産科学領域	095-819-2793	
環境科学領域	095-819-2713	
・医歯薬学総合研究科(医学系)	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
(保健学系)	095-819-7904	〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1
(歯学系)	095-819-7605	〒852-8588 //
(薬学系)	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
附属先進予防医学研究センター	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属薬用植物園	095-819-2413	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・熱帯医学・グローバルヘルス研究科	095-819-7803	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
・プラネタリーヘルス学環	095-819-7008	//
・熱帯医学研究所	095-819-7803	//
附属アジア・アフリカ感染症研究施設	//	
附属熱帯医学ミュージアム	//	
・原爆後障害医療研究所	095-819-7004	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター	//	//
・高度感染症研究センター	095-800-4300	//
附属BSL-4施設	//	//
・病院	095-819-7200 (代表)	〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1
・附属図書館(中央図書館)	095-819-2193	〒852-8521 長崎市文教町1-14
附属図書館(医学分館)	095-819-7013	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
附属図書館(経済学部分館)	095-820-6309	〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1
・保健センター	095-819-2214	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・放射線総合センター	095-819-7150	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
・IC T基盤センター	095-819-2222	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・言語教育研究センター	095-819-2077	//
・核兵器廃絶研究センター	095-819-2164	//
・環境保全センター	095-819-2247	//
・グローバルリスク研究センター	095-819-2964	//
・パンデミック総合研究センター	095-819-7803	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
・教育開発推進機構		〒852-8521 長崎市文教町1-14
大学教育イノベーションセンター	095-819-2077	
アドミッションセンター	095-819-2113	
生涯教育センター	095-819-2184	
・研究開発推進機構		〒852-8521 長崎市文教町1-14
研究インテリジェンス部門	095-819-2208	
学術研究支援部門	095-819-2208	
海外グラント・外国人研究支援部門	095-819-2208	
イノベーション・社会実装推進部門	095-819-2231、095-819-2188	
研究インテグリティ部門	095-800-4114	
設備共同利用部門	095-819-2465	
アントレプレナーシップセンター	095-800-4121	
・グローバル機構	095-819-2043、095-819-2123	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・海洋未来イノベーション機構	095-800-4122	//
環東シナ海環境資源研究センター	095-850-7311	〒851-2213 長崎市多以良町1551-7
「ながさきBLUEエコノミー」高島水産研究所	095-801-1925	〒851-1315 長崎市高島町1156番地地先
実海域技術開発研究推進センター	095-800-4129	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・キャリアセンター	095-819-2101	//
・未来教育創造センター	095-819-2407	//
・障がい学生支援室	095-819-2006	//
	095-819-2974 (FAX番号)	
・子どもの心の医療・教育センター	095-819-7926	〒852-8520 長崎市坂本1丁目7-1
・先端創薬イノベーションセンター	095-819-2230	〒852-8521 長崎市文教町1-14
・福島未来創造支援研究センター	095-819-7098	〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4
・国際交流会館	095-845-0201	〒852-8043 長崎市西町12-1
・国際交流会館坂本分館	095-819-7519	〒852-8102 長崎市坂本1丁目7-1
・国際学寮ホルテンシア	095-819-2103	〒852-8042 長崎市白鳥町8-77、8-78
・臨海研修所	095-882-8301	〒851-2111 西彼杵郡時津町子々川郷
・東京事務所	080-8577-2263	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目3-11 日本橋ライフサイエンスビル907号室

長崎大学位置図



- ① 臨海研修所
- ② 海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター
- ③ 「ながさきBLUEエコノミー」高島水産研究所
- ④ 野母崎研究施設
- ⑤ 教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校
- ⑥ 教育学部附属特別支援学校
- ⑦ 計画・評価本部, 広報戦略本部, インスティテューショナル・リサーチ推進本部, ダイバーシティ推進センター, ディベロップメントオフィス, 校友会, 監査室, 事務局, 多文化社会学部, 教育学部, 薬学部, 情報データ科学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部, 多文化社会学研究科, 教育学研究科, 医歯薬学総合研究科(薬学系), 総合生産科学研究科, 工学研究科, 水産・環境科学総合研究科, 附属図書館, 附属薬用植物園, 保健センター, ICT基盤センター, 言語教育研究センター, 核兵器廃絶研究センター, 環境保全センター, グローバルリスク研究センター, 教育開発推進機構, 研究開発推進機構, グローバル機構, 海洋未来イノベーション機構, キャリアセンター, 未来教育創造センター, 障がい学生支援室, 先端創薬イノベーションセンター
- ⑧ 国際学寮ホルテンシア
- ⑨ 国際交流会館
- ⑩ 医学部(医学科), 熱帯医学研究所, 原爆後障害医療研究所, 高度感染症研究センター, 医歯薬学総合研究科(医学系), 放射線総合センター, 附属図書館(医学分館), 熱帯医学・グローバルヘルス研究科, プラネタリーヘルス学環, パンデミック総合研究センター, 福島未来創造支援研究センター
- ⑪ 病院, 歯学部, 薬学部 医歯薬学総合研究科(保健学系・歯学系・薬学系), 医学部(保健学科), 国際交流会館坂本分館, 原子力災害対策戦略本部, 子どもの心の医療・教育センター
- ⑫ NUTIC(長崎大学テクノロジーイノベーションキャンパス)
- ⑬ 経済学部, 経済学研究科, 附属図書館(経済学部分館)

長崎大学ロゴマーク

正式ロゴマーク



従来、長崎大学で使用されていたシンボルマーク（帆船マーク）は、昭和24年に大学構成員の連帯意識を高め、総合大学として発展するための心のよりどころとして、鎖国時代の文化の門戸であった長崎に因むオランダ船の舳先にNU (Nagasaki University) の頭文字を付け、右肩に「大學」の字を配したマークが制定されました。

国立大学法人化を機に従来のシンボルマークを精緻化し、新たに正式ロゴマークとして平成17年4月1日に制定したものです。

略式ロゴマーク



正式ロゴマークとは別に広く使用するものとして新たに略式ロゴマークを平成17年4月1日に制定しました。

中央にある“黄色系の図形”は「学生・教職員」を、右にある“緑色系の図形”は自然環境の豊かな「地域・日本国土」を、そして左にある“青色系の図形”は「地域・日本国土」を取り巻く「広大な海とその先にある国際社会」を表します。

これらの図形の“重なり”はそれぞれの分野での「調和と貢献」を、また“黄色系の円”は「創造」を表しています。

全体を見ると「学生・教職員」と「地域・日本国土」とにより形作られる“人”と「国際社会」とにより形作られた“人”とはさらに合わさって、「長崎大学」を表す“N”を構成しています。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.



【編集発行】長崎大学広報戦略本部

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL 095-819-2007

URL <https://www.nagasaki-u.ac.jp/>

2026年8月発行

